

CHINO

データ解析ソフト

ZAILA-P

取扱説明書

INSTRUCTIONS

このたびは、データ解析ソフトをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本ソフトを正しく安全に、かつトラブルを未然に防ぐため、ご使用前に本取扱説明書を充分に
お読みの上、正しくお使いくださるようお願い申し上げます。

使用許諾条項

1. 適用

以下の項目は、弊社がお客様にご購入頂いた製品に対し適用致します。

2. 著作権

本ソフトの著作権、商標権、ノウハウおよび全ての知的所有権は弊社が所有します。

3. 使用許諾の範囲

本ソフトは使用対象機器において、複数のユーザーが複数のパソコンへインストールして使用することが可能です。

4. 第三者使用の禁止

お客様は、弊社の文書による事前の承諾をなくして本ソフトおよびそのコピーの譲渡、販売、転貸はできないものとします。

5. コピーの制限

お客様は、記憶媒体で提供されている本ソフトに限り、これをバックアップの目的のために複製することができます。

6. 改造の禁止

お客様は、本ソフトの変更または改造（本ソフトの一部を他のソフトに組み込むことを含む）は弊社の同意なしに行うことはできません。

7. 保証

本ソフトは、取扱説明書に沿ってインストール、運用頂いた場合に限り動作補償を行うものとします。

8. 免責

本ソフトの運用による損害については、免責とさせていただきます。

9. その他

弊社は、本ソフトを改良その他により仕様を予告なしに変更することがあります。

お断わり

1. 本書の全部、または一部を無断で複写、または転載することを禁じます。

2. 本書の記載内容は、お断わりなく変更する場合がありますので、ご了承下さい。

3. 本書の内容については、万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどありましたら、最寄りの当社支店・営業所までお申し出て下さい。

1. 概要.....	2
1-1. 主な機能と特徴.....	2
1-2. 動作環境.....	2
2. インストールと削除.....	3
2-1. インストール方法.....	3
2-2. アンインストール（削除）方法.....	4
3. 操作.....	5
3-1. データ解析ソフト構成図.....	5
3-2. データ解析ソフトの起動方法.....	6
3-3. データ解析ソフトの終了.....	6
3-4. 簡単！操作ガイド.....	7
3-4-1. ファイル選択.....	7
3-4-2. トレンド表示.....	8
3-4-3. 時間軸の変更.....	9
3-4-4. スケール軸の変更.....	10
4. メインメニュー.....	11
5. トレンドグラフ.....	12
5-1. ファイル選択.....	15
5-2. データ登録.....	16
5-3. データ一覧.....	17
5-4. カーソル間データ.....	18
5-5. バーグラフ.....	19
5-6. メッセージ移動.....	20
5-7. 警報表示.....	21
5-8. 連続再生.....	21
5-9. 画面印刷.....	22
5-10. カーソル表示.....	22
5-11. トレンドライン.....	23
5-12. スケール軸設定.....	24
5-13. 時間軸設定.....	25
5-14. 時間表示間隔設定.....	25
5-15. タイトル.....	26
5-16. 凡例.....	27
5-17. 補助設定.....	27
5-18. 拡大・縮小・回転.....	28
5-19. マルチスケール軸設定.....	29
5-20. オーディット一覧.....	30
5-21. アラームサマリ.....	31
5-22. ファイルプロパティ.....	32
6. 設定パラメーター一覧.....	33
7. オーディット一覧.....	34
7-1. ファイル選択.....	34
7-2. オーディット一覧.....	35
7-3. ファイルプロパティ.....	36
8. その他の設定.....	36
9. よくある質問（FAQ）.....	37

1. 概要

本データ解析ソフトは、弊社の計測データプロテクト機能付 KR シリーズで集録したデータの解析を行うソフトウェアパッケージです。

1-1. 主な機能と特徴

- 計測データプロテクト機能付 KR シリーズで集録したデータをトレンド表示できます。
- 複数のデータファイルを一つにまとめてトレンド表示できます。
- 最大 128 チャンネルまで登録できます。演算登録機能は、現在使用できません。
- 集録データの印刷や、PDF 形式（※）、CSV 形式またはテキスト形式への保存が可能です。
- 各データの最大値、最小値、平均値、標準偏差、中央値を数値表示、グラフ表示できます。
- グラフにカーソルを 2 本まで表示できます。
- カーソル間の最大値、最小値、平均値、標準偏差、中央値を数値表示、グラフ表示できます。
- グラフを拡大・縮小・部分拡大することができます。
- グラフにメッセージを入力できます。
- グラフのスケール軸を対数表示することができます。
- トレンドグラフを印刷できます。PDF（※）、JPG または BMP で保存することも可能です。

※Adobe® Acrobat® 9 以降がインストールされている必要があります。

1-2. 動作環境

<ハードウェア>

CPU	1GHz 以上
メモリー	256MB 以上（推奨 512MB 以上）
ディスクドライブ	CD-ROM ドライブ : 1 ドライブ以上(インストール時に必要) ハードディスクドライブ : 空き容量が 100MB 以上のものが 1 ドライブ以上

<ソフトウェア>

- ・OS Windows 10（日本語版）
- ・Internet Explorer6.0 以降

2. インストールと削除

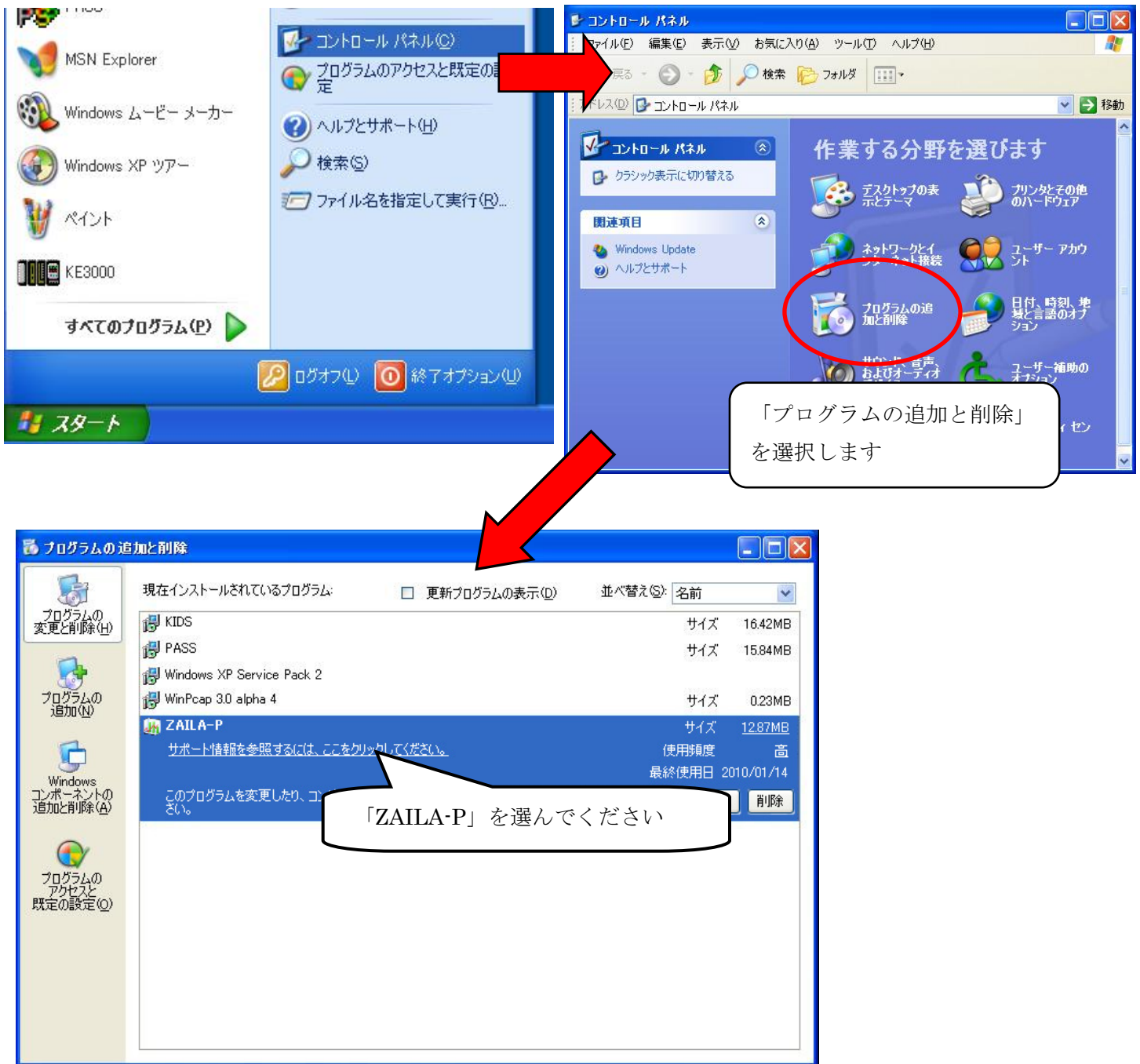
2-1. インストール方法

パソコンの CD-ROM ドライブに CD を挿入すると下図のメニュープログラムが起動します。
「解析ソフト ZAILA-P インストール」をクリックしてください。
インストール画面が表示されます。



2-2. アンインストール（削除）方法

Windows のタスクバーから「スタート」―「すべてのプログラム」―「コントロールパネル」をクリックします。



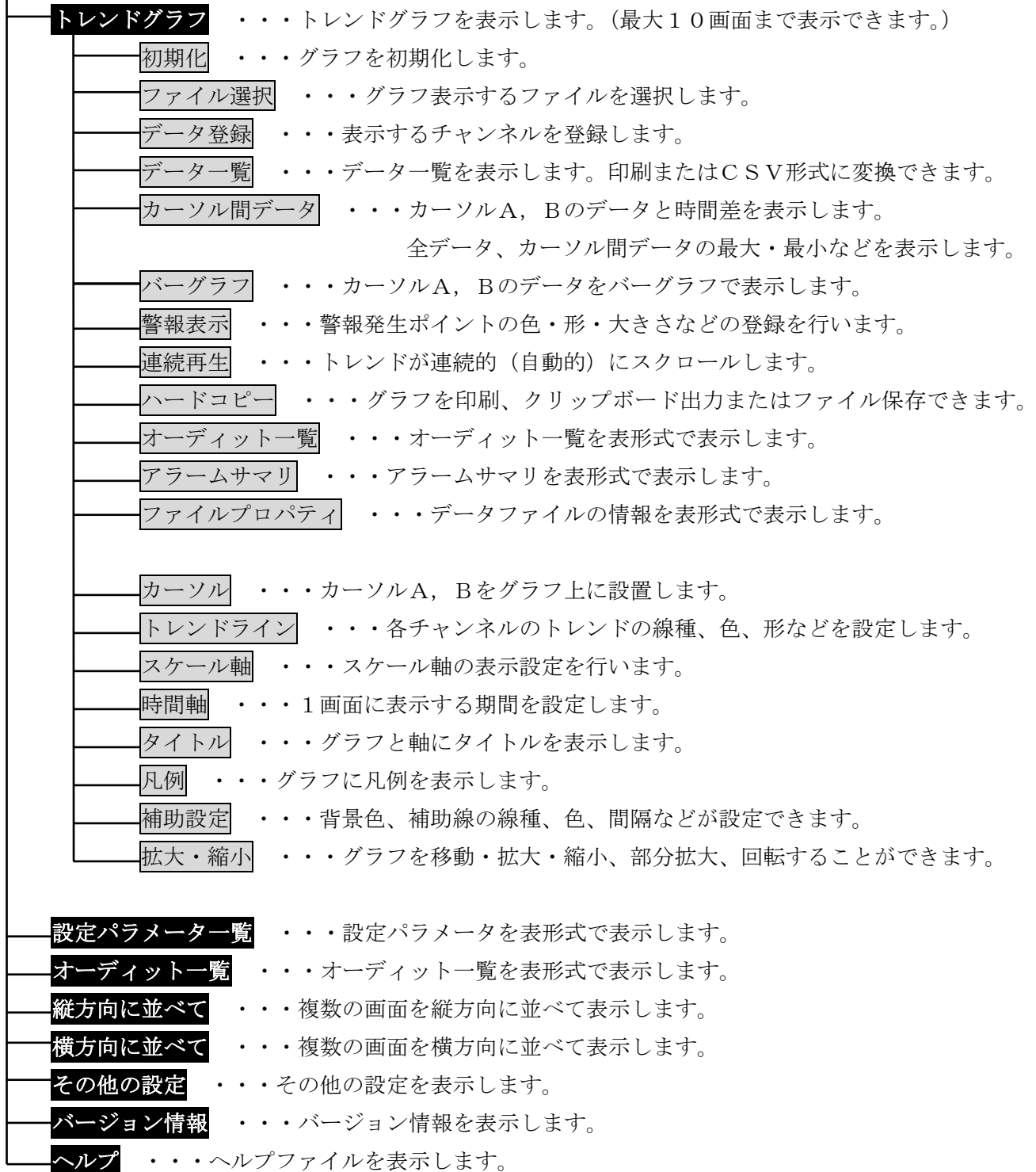
この時点では、データ解析ソフトに関係するフォルダが残っています。

全て削除する場合にはエクスプローラなどで、「ZAILA-P」のフォルダを削除して下さい。

3. 操作

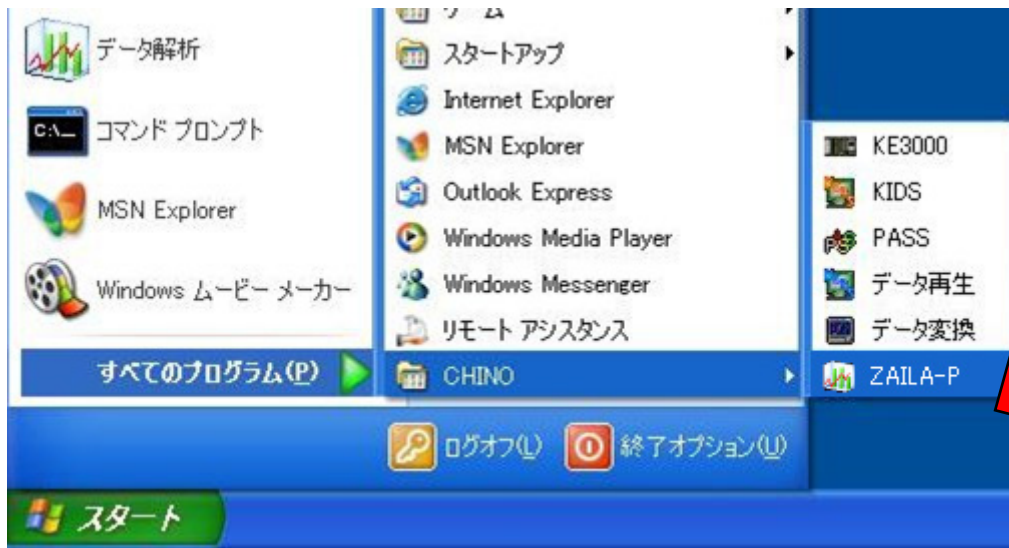
3-1. データ解析ソフト構成図

メインメニュー . . . 起動すると最初に表示される画面です。



3-2. データ解析ソフトの起動方法

Windows のタスクバーから「スタート」 — 「すべてのプログラム」 — 「CHINO」 — 「ZAILA-P」 をクリックすると起動します。



3-3. データ解析ソフトの終了

タイトルバー右端の「×」をクリックする。



3-4. 簡単！操作ガイド

簡単！操作ガイド

3-4-1. ファイル選択

解析するファイルを選択します。

ファイル選択するには以下の方法があります。（いずれか1つの方法を選んで下さい。）

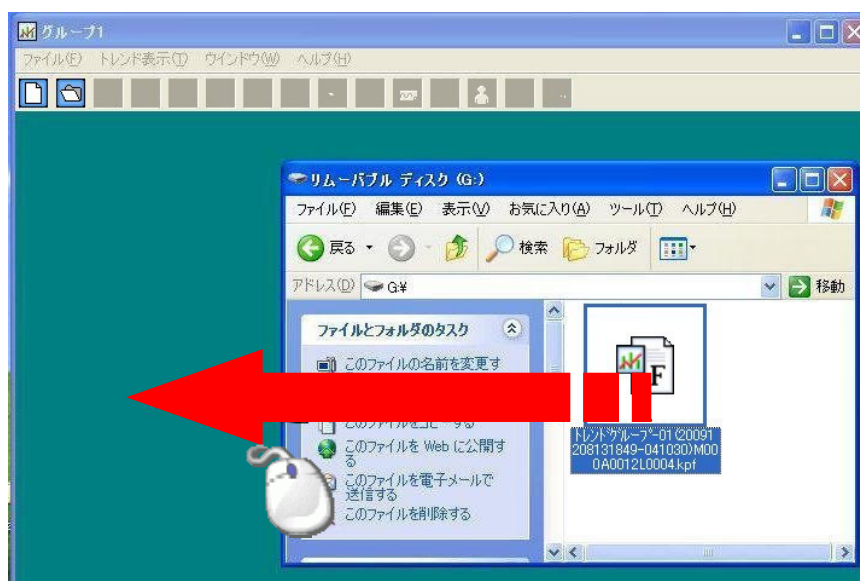
①ダブルクリック

データファイルをダブルクリックすると、解析ソフトが自動起動しトレンド表示します。




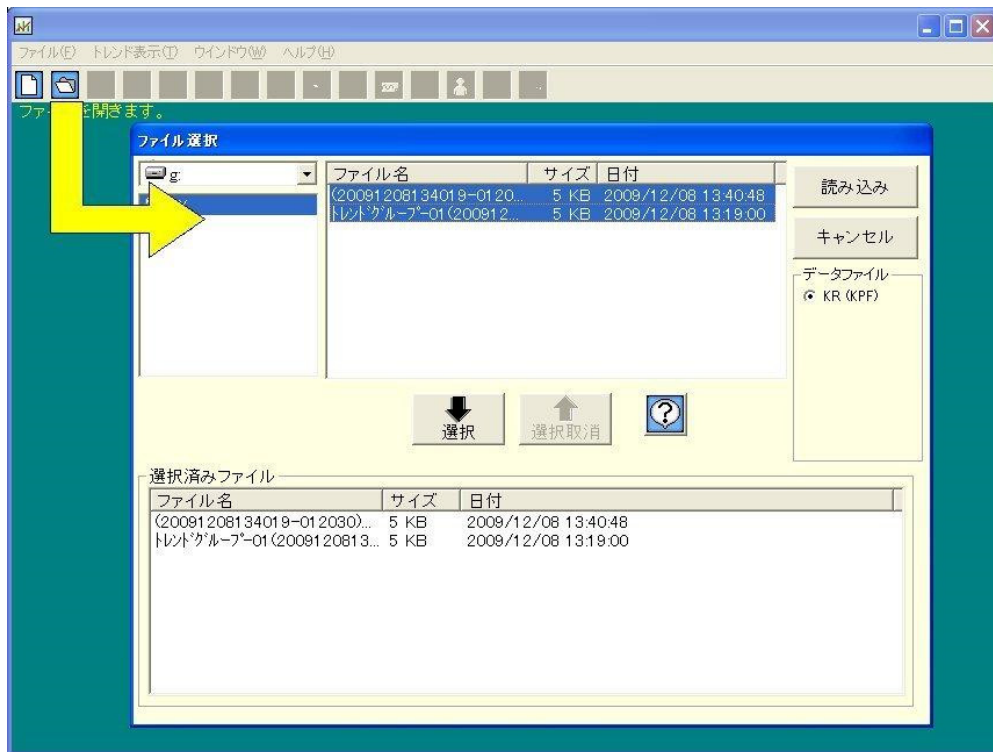
②ドラッグ&ドロップ

解析ソフトを起動し、トレンド画面が開いたら、ファイルをドラッグ&ドロップします。



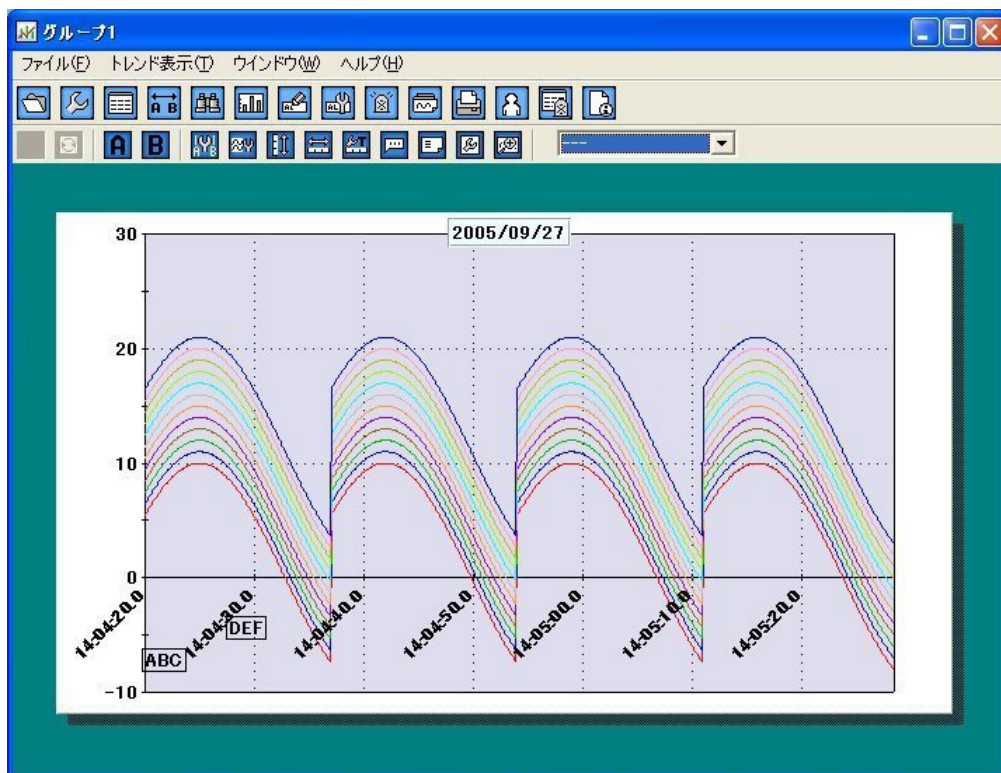
③ファイル選択

解析ソフトを起動し、トレンド画面が開いたら、ファイル選択をクリックします。
ファイル選択画面が開いたら、ファイルを選択します。



3-4-2.トレンド表示

ファイルが正常に選択できると、トレンド表示します。(全データが表示されます)

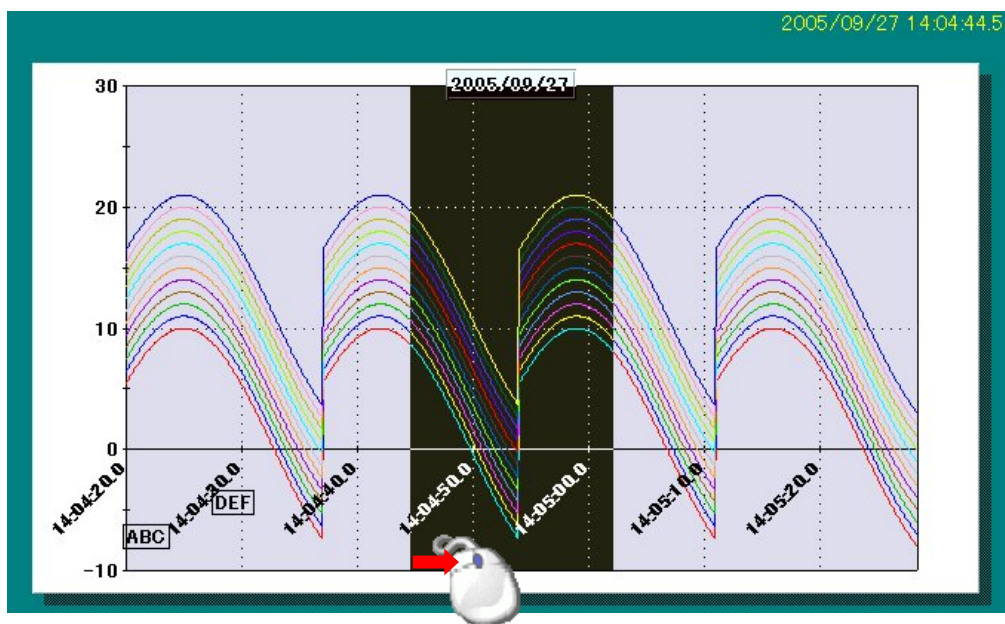


3-4-3. 時間軸の変更

時間軸を拡大して、その時間範囲にあるデータを1画面に拡大表示できます。
範囲外のデータはスクロールバーで画面をスクロールして表示することが可能です。
時間軸の変更方法は2つあります。

①マウスによる時間軸の範囲指定

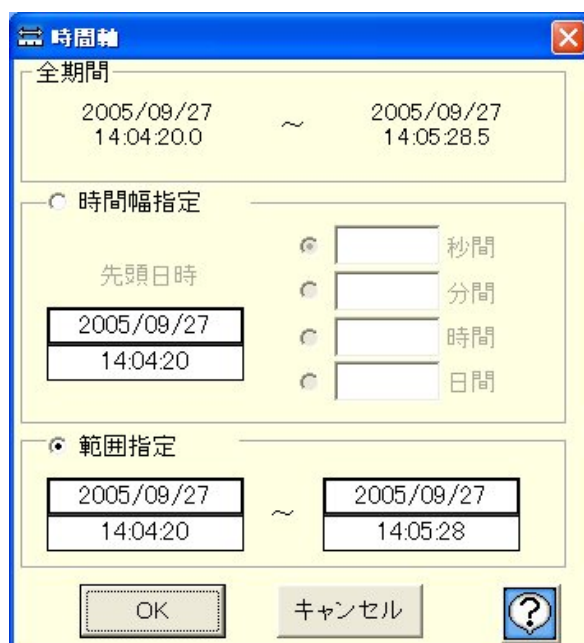
拡大したい点でマウスの左ボタンを押し（始点を決定）、
そのままドラッグ（マウスを移動）して拡大したい点（終点を決定）でマウスの左ボタンを離します。
（黒色反転している範囲が拡大されます。）



②キーボードによる時間軸の範囲指定

ツールバーの時間軸指定ボタンをクリックし、下図の画面を開きます。

時間幅を入力して、OKをクリックすると、入力内容にエラーがなければ指定した範囲を表示します。

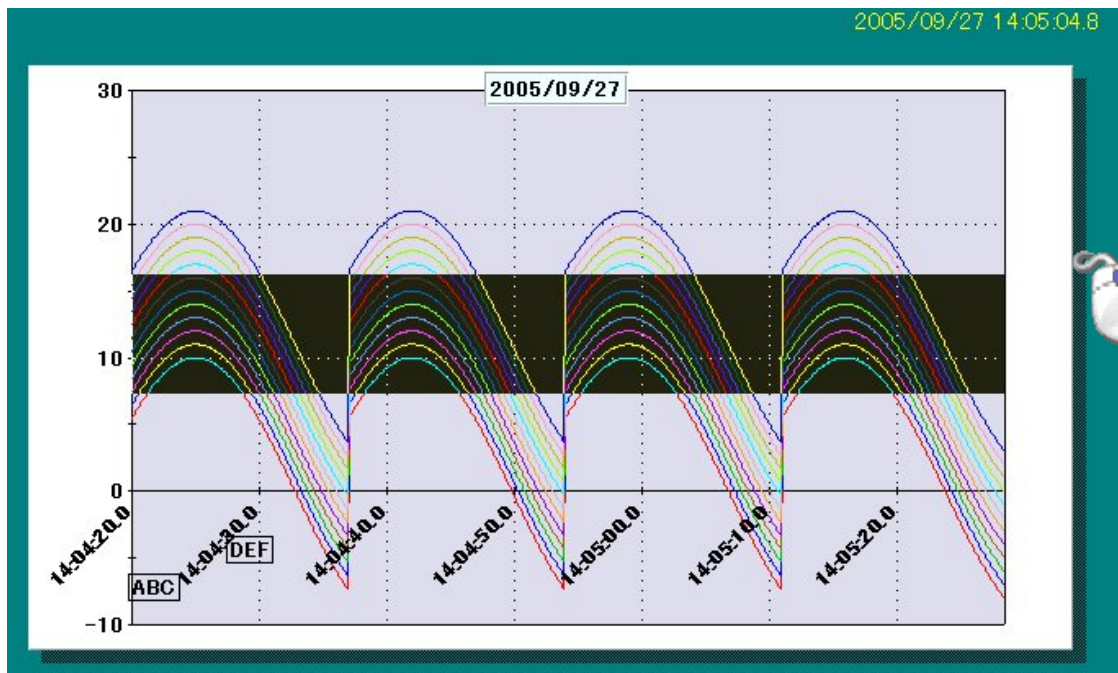


3-4-4. スケール軸の変更


スケール軸を拡大して、その範囲にあるデータを1画面に拡大表示できます。
スケール軸の変更方法は2つあります。

① マウスによるスケール軸の範囲指定

拡大したい点でマウスの右ボタンを押し（始点を決定）、
そのままドラッグ（マウスを移動）して拡大したい点（終点を決定）でマウスの右ボタンを離します。
（黒色反転している範囲が拡大されます。）



② キーボードによるスケール軸の範囲指定









ツールバーのスケール軸指定ボタンをクリックし、下図の画面を開きます。
スケール最大・最小を入力してOKをクリックすると、
入力内容にエラーがなければ指定した範囲を表示します。

スケール軸	
スケール	手動
最大値	30
最小値	-10
目盛表示	最適化
ラベル表示間隔	10
ラベル傾き	0
補助目盛間隔	5
<input type="checkbox"/> 対数目盛を表示する	
<input type="checkbox"/> 軸を反転する	
時間軸との交点	
<input checked="" type="radio"/> 0	
<input type="radio"/> 最小値	
<input type="radio"/> 最大値	
OK キャンセル プレビュー ?	

4. メインメニュー

起動すると最初に表示される画面です。



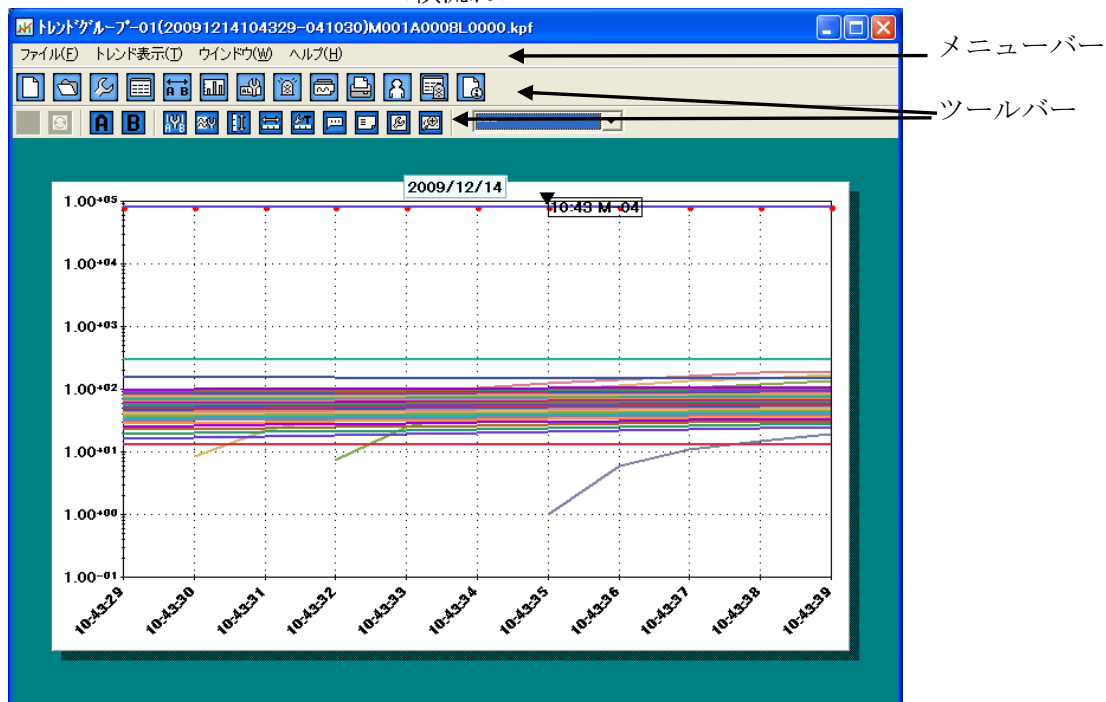
	トレンド画面が表示されます。 最大10グループまで表示可能です。
	設定パラメータを表形式で表示します。
	オーディット一覧を表形式で表示します。 最大10グループまで表示可能です。
	複数のウィンドウを縦方向に並べて表示します。
	複数のウィンドウを横方向に並べて表示します。
	その他の設定を表示します。
	バージョン情報を表示します。
	ヘルプを表示します。

5.トレンドグラフ

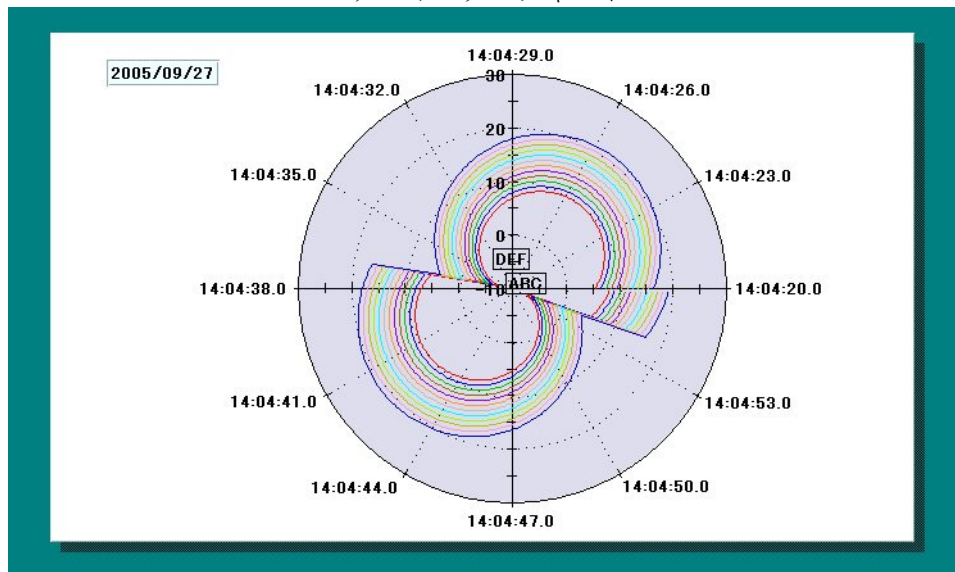
集録したデータをトレンド表示する画面です

- ・トレンド表示は、「横流れ、縦流れ、サーキュラーチャート」の3種類あります。
画面上側のメニューバーで表示を切り替えます。(36ページ参照)
- ・横/縦流れの場合は、1画面に全データ表示し、時間軸を拡大すること(簡単操作ガイド参照)が可能です。スクロールバーで画面をスクロールできます。
- ・サーキュラーチャートの場合は、1周で360点のデータを表示します。
◀▶のボタンを押して画面を更新します。
- ・ツールバーをクリックし各設定を行うと、様々な画面表示が行え、データ解析をすることが可能です。














<横流れ>



<サーキュラーチャート>



ツールバー：上段

	すべての情報をクリア（初期化）します。
	ファイル選択画面が表示されます。 解析するデータを選択してください。
	使用するチャンネルを登録します。 タグ、単位も登録可能です。
	データー一覧が表示されます。 チャンネルのデーター一覧を表示、印刷、ファイル保存することが可能です。
	カーソルA、Bのデータと時刻の表示、カーソルA B間の時間差、データ差、全データとカーソルA B間の最大、最小、平均などを表示、印刷、保存します。
	カーソルA、Bのデータをバーグラフ（棒グラフ）で表示します。 表示位置、太さ、向きなどが設定できます。
	メッセージの詳細が表示され、表示／非表示の切換え、移動ができます。
	警報発生したポイントの形、色、大きさなどが設定できます。 警報発生していない場合は無効です。
	連続再生が表示され、トレンドが連続的にスクロールします。
	トレンド画面を印刷、クリップボード出力またはファイル保存できます。
	オーディット一覧を表形式で表示します。 機器の操作履歴を表示、印刷することが可能です。
	アラームサマリを表形式で表示します。
	ファイルプロパティが表示されます。

ツールバー：下段

	時間軸を拡大して行った場合、1つ前に戻ることができます。 ※サーキュラーチャートの場合は表示されません。
	時間軸をデフォルトに戻し、全データを1画面に表示します。 ※サーキュラーチャートの場合は表示されません。
	サーキュラーチャートは1周で360点のデータを表示します。 1つ前の周に戻ります。※サーキュラーチャートの場合のみ表示されます。
	次の周に移ります。※サーキュラーチャートの場合のみ表示されます。
	このボタンをクリックし、トレンド画面をクリックすると、 そのクリックした場所からもっとも近い場所にカーソルAが設置されます。 もう一度クリックすると、設置が解除され、トレンド画面をクリックしてもカーソルは設置されません。 (既に設置してあるカーソルは解除されません。)
	このボタンをクリックし、トレンド画面をクリックすると、 そのクリックした場所からもっとも近い場所にカーソルBが設置されます。 もう一度クリックすると、設置が解除され、トレンド画面をクリックしてもカーソルは設置されません。 (既に設置してあるカーソルは解除されません。)
	カーソルABの表示・非表示、色、線種などが設定できます。
	各チャンネルのトレンドの線種、色、形などが設定できます。
	スケール軸の表示設定を行います。 最大・最小値、目盛表示間隔、対数表示などが設定できます。 (マルチスケール時は設定できません。)
	時間軸の設定を行います。 画面に表示する期間を入力することができます。 ※サーキュラーチャートの場合は表示されません。
	時間軸の表示設定を行います。 時間表示間隔、補助目盛間隔などが設定できます。
	グラフにタイトルを入力することができます。
	凡例表示の設定ができます。
	グラフの補助設定を行います。 背景色、補助線の線種、色、間隔などが設定できます。
	グラフを拡大・縮小、ズーム、回転することができます。 (マルチスケール時は設定できません。)

5-1. ファイル選択

- ファイルの選択を行います。(ZAILA-P では下記のファイルを扱います。)

拡張子	説明
KPF	KR2000P/3000P シリーズで作成されるファイルです。 ファイル名はグループ名_G1(yyyymmddhhmmss-CH 数 3 桁インターバル ID2 桁+データ形式 1 桁)+M+メッセージ件数(3 桁)+A+オーディットトレイル件数(4 桁)+L+警報サマリ件数 (4 桁) .kpf という形式で作成されます。

- ファイル選択画面の上段にファイルのリストが表示されます。
- ファイルを選択し選択ボタンをクリックすると画面下段の選択済みファイル欄に追加されます。集録周期が同じなら、複数のファイルを選択することができます。

選択	選択したファイルが画面下段の選択済みファイル欄に追加されます。
選択取消	選択したファイルが選択済みファイル欄より削除されます。
読み込み	選択済みファイルのデータを読み込みます。

5-2. データ登録

- ・使用するチャンネルを登録します。
 - ・タグ、単位、指数表示を登録できます。
 - ・登録は自動で行います。
- 「演算方法」 この機能は使用できません。

- ・スケール軸をシングル、ダブル、マルチに切り替ええます。

シングル・・・各チャンネルのデータ値を同一スケール軸上に表示します。

ダブル・・・異なるスケールのデータを、同一グラフに表示する場合に最適です。

※対数目盛、標準偏差は使用できません。

マルチ・・・記録計の様に、複数スケールをグラフ上に表示します。

※対数目盛は使用できません。

使用チャンネルの登録

スケール軸

OK キャンセル ?

シングル ダブル マルチ












C = A - B

CH	表示	A 基準CH	-/+	B 引くCH	B 引く値	スケール 最小値	スケール 最大値	スケール 小数点	タグ	単位	指数表示
No1	<input checked="" type="checkbox"/>	No1	-		0	-10.00	10.00		2 No1	V	----
No2	<input checked="" type="checkbox"/>	No2	-		0	-10.00	10.00		2 No2	V	----
No3	<input checked="" type="checkbox"/>	No3	-		0	-10.00	10.00		2 No3	V	----
No4	<input checked="" type="checkbox"/>	No4	-		0	-10.00	10.00		2 No4	V	----
No5	<input checked="" type="checkbox"/>	No5	-		0	-10.00	10.00		2 No5	V	----
No6	<input checked="" type="checkbox"/>	No6	-		0	-10.00	10.00		2 No6	V	----
No7	<input checked="" type="checkbox"/>	No7	-		0	-10.00	10.00		2 No7	V	----
No8	<input checked="" type="checkbox"/>	No8	-		0	-10.00	10.00		2 No8	V	----
No9	<input checked="" type="checkbox"/>	No9	-		0	-10.00	10.00		2 No9	V	----
No10	<input checked="" type="checkbox"/>	No10	-		0	-10.00	10.00		2 No10	V	----
No11	<input checked="" type="checkbox"/>	No11	-		0	-10.00	10.00		2 No11	V	----
No12	<input checked="" type="checkbox"/>	No12	-		0	-10.00	10.00		2 No12	V	----
No13	<input type="checkbox"/>	----	-		0				CH13		----
No14	<input type="checkbox"/>	----	-		0				CH14		----


5-3. データ一覧











- ・ データ一覧を表形式で表示します。
- ・ 警報発生したポイントは赤で表示されます。
- ・ マウスをそのセルに移動すると警報の詳細が表示されます。
- ・ データ一覧をファイル出力できます。

	全データを一覧表示します。
	カーソルA、B間のデータを一覧表示します。 カーソルA、Bを設置していない場合は無効です。
	現在表示している期間を表示します。 ※サーキュラーチャートの場合は表示されません。
	印刷設定を行います。
	印刷します。
	ファイル出力します。 CSV形式、テキスト形式（タブ区切り）から選択できます。
	Excelにエクスポートします。 Excelが自動起動し、グラフ表示します。 表示にはExcelが必要です。
	PDFファイルに出力します。 出力するにはAdobe Acrobat9がインストールされている必要があります。
	抽出条件に従って抽出したデータを表示します。 時刻を指定して抽出する場合は、[****/**/** *: **: **] の書式で指定して下さい。 月/日 時:分は必ず指定してください。 例 1. 2009/10/14 10:28:31 例 2. 1/14 1:28
	検索条件に従って検索したデータの行を選択します。 時刻を指定して検索する場合は、[****/**/** *: **: **] の書式で指定して下さい。 月/日 時:分は必ず指定してください。 例 1. 2009/10/14 10:28:31 例 2. 1/14 1:28

データ一覧							
画面(D) スキップ設定(S)							
          							
	時刻	No1 [V]	No2 [V]	No3 [V]	No4 [V]	No5 [V]	No6 [V]
1	2009/10/29 16:46:19	-13.45	-10.45	-7.45	-4.45	-1.45	1.55
2	2009/10/29 16:46:20	-13.96	-10.96	-7.96	-4.96	-1.96	1.04
3	2009/10/29 16:46:21	-14.62	-11.62	-8.62	-5.62	-2.62	0.38
4	2009/10/29 16:46:22	-15.42	-12.42	-9.42	-6.42	-3.42	-0.42
5	2009/10/29 16:46:23	-16.33	-13.33	-10.33	-7.33	-4.33	-1.33
6	2009/10/29 16:46:24	-17.3	-14.3	-11.3	-8.3	-5.3	-2.3
7	2009/10/29 16:46:25	-18.29	-15.29	-12.29	-9.29	-6.29	-3.29
8	2009/10/29 16:46:26	-19.28	-16.28	-13.28	-10.28	-7.28	-4.28
9	2009/10/29 16:46:27	-20.21	-17.21	-14.21	-11.21	-8.21	-5.21
10	2009/10/29 16:46:28	-21.06	-18.06	-15.06	-12.06	-9.06	-6.06
11	2009/10/29 16:46:29	-21.78	-18.78	-15.78	-12.78	-9.78	-6.78
12	2009/10/29 16:46:30	-22.36	-19.36	-16.36	-13.36	-10.36	-7.36
13	2009/10/29 16:46:31	-22.76	-19.76	-16.76	-13.76	-10.76	-7.76

5-4. カーソル間データ

- カーソルA、Bのデータと時刻の表示、カーソルA B間の時間差、データ差、全データ及びカーソルA B間の最大、最小、平均、標準偏差、中央値を一覧表示、印刷、保存します。
- カーソルA、Bを移動できます。（1つずつ移動するので微調整が可能です。）
- カーソルA、Bのデータで警報発生しているポイントは赤で表示されます。
- カーソルA、Bのデータ差（A-B）がマイナスの場合は赤で表示されます。
- カーソルA、B間の演算は、をクリックすると表示します。
- メニューバーの自動計算をONにするとカーソルA Bが変更するごとに演算の計算を行います。
※データ数が多いほど、計算には時間がかかります。
- 全データ間、カーソルA B間の演算結果をトレンド画面に表示することができます。

	カーソルAを左に1つ移動します。
	カーソルAを右に1つ移動します。
	カーソルBを左に1つ移動します。
	カーソルBを右に1つ移動します。
	演算計算結果のデータをトレンド表示する場合、トレンドの色、線種などを登録します。
	カーソル間の演算を計算します。 ※カーソルA、Bが設置されていない場合は無効です。
	印刷設定を行います。
	印刷プレビューが表示されます。
	印刷します。
	ファイル出力します。

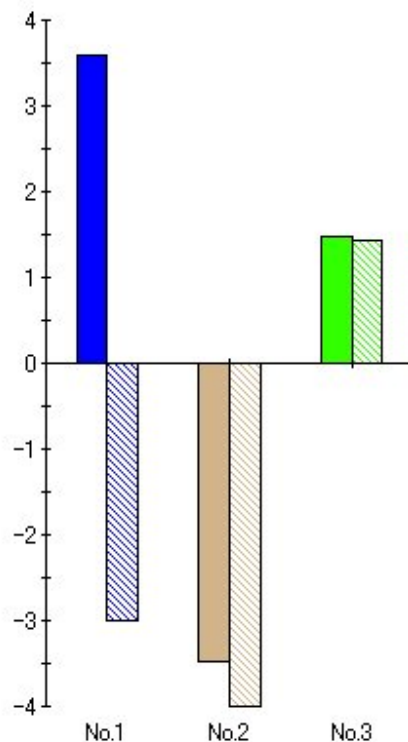
カーソル								
画面 表示 自動計算								
ヘルプを表示します。								
	カーソルA	カーソルB	A-B	全データ 最大値	全データ 最小値	全データ 平均値	全データ 標準偏差	
時刻	2005/09/27 14:04:33.8	2005/09/27 14:04:29.9	0:0:3.9					
No1	-1.93	5.52	-7.45	9.99	-8.04	4.366851315	5.07350466	
No2	-0.93	6.52	-7.45	10.99	-7.04	5.366851315	5.07350467	
No3	0.07	7.52	-7.45	11.99	-6.04	6.366851315	5.07350468	
No4	1.07	8.52	-7.45	12.99	-5.04	7.366851315	5.07350469	
No5	2.07	9.52	-7.45	13.99	-4.04	8.366851315	5.07350461	
No6	3.07	10.52	-7.45	14.99	-3.04	9.366851315	5.07350461	
No7	4.07	11.52	-7.45	15.99	-2.04	10.366851315	5.07350461	
No8	5.07	12.52	-7.45	16.99	-1.04	11.366851315	5.07350461	
No9	6.07	13.52	-7.45	17.99	-0.04	12.366851315	5.07350461	
No10	7.07	14.52	-7.45	18.99	0.96	13.366851315	5.07350461	
No11	8.07	15.52	-7.45	19.99	1.96	14.366851315	5.07350461	

5-5. バーグラフ

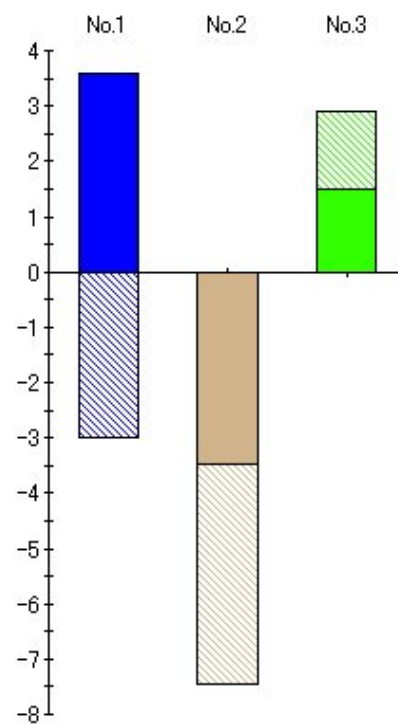
カーソルA, Bのデータをバーグラフ（棒グラフ）で表示します。
グラフタイプ、表示位置、向きなどが設定できます。

グラフ	表示・非表示を切り替えます。 表示の場合は、配置する場所を上下左右から一つ選択します。
グラフ タイプ	「棒グラフ、積層グラフ、データ」から選択できます。（下図参照） 棒グラフはカーソルA, Bを隣り合わせに2本表示します。（左） 積層グラフの場合、カーソルA, Bを1本の棒の中に積層したグラフとして表示します。（右） データの場合は、カーソルA, Bのデータと時刻、A B間の時間差、データ差を表示します。
向き	グラフの向きを「横方向・縦方向」から選択できます。
重なり	グラフの重なりを設定できます。 ※積層グラフの場合は無効です。
幅	棒の幅を設定できます。

棒グラフ





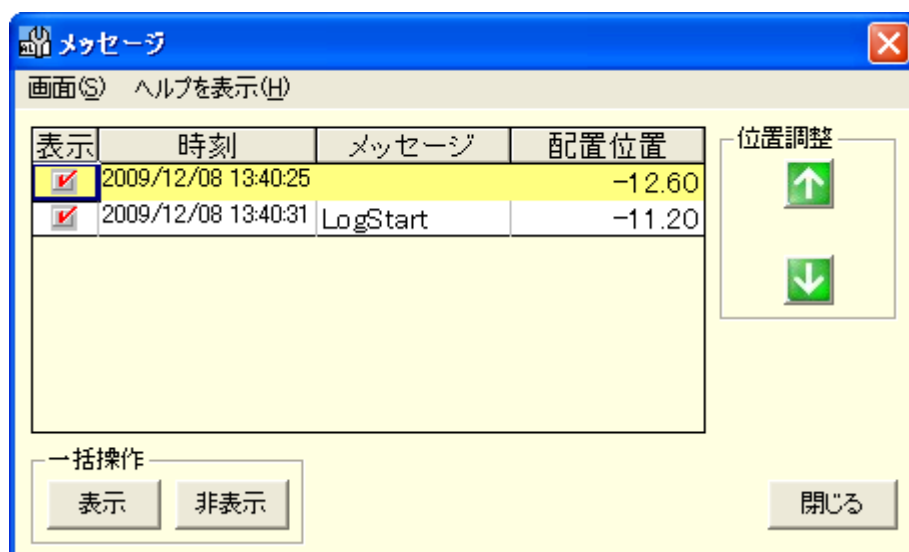
積層グラフ



5-6. メッセージ移動

メッセージの詳細が表示され、表示／非表示の切換え、移動ができます。
選択されているメッセージは、グラフ上に赤で表示されます。

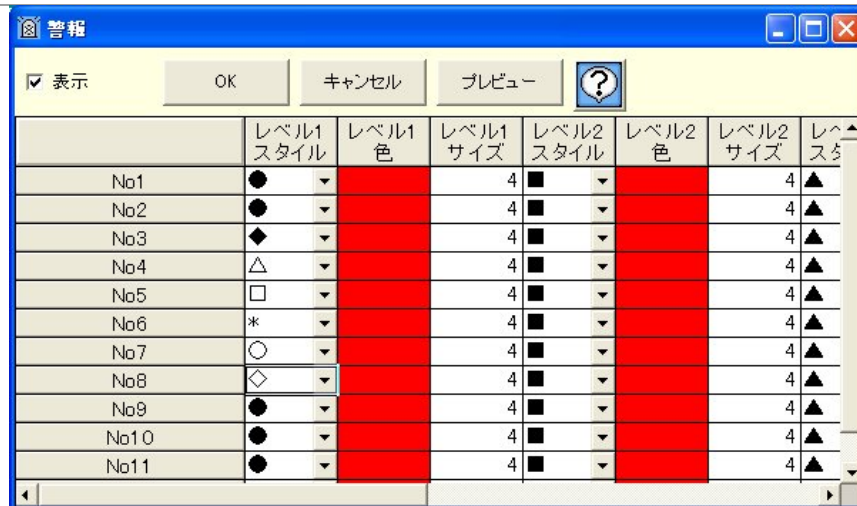
表示	メッセージの表示／非表示を切換えできます。 チェックを入れる则表示します。
時刻	メッセージの日付と時刻が表示されます。 編集はできません。
メッセージ	メッセージが表示されます。 編集はできません。
配置位置	メッセージの配置位置を表示します。 直接入力することもできますが、位置調整の矢印ボタンでも変更できます。
位置調整  	選択されているメッセージの位置を調整できます。 表示されるボタンは、グラフの向きにより変化します。
一括操作	[表示] すべての表示欄にチェックを入れ、メッセージを表示します。 [非表示] すべての表示欄のチェックを外し、メッセージを非表示にします。



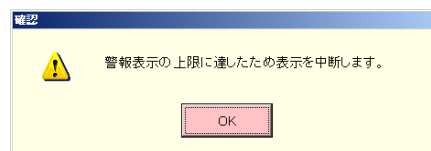
5-7. 警報表示

- ・各レベルの警報が発生したポイントを、トレンドグラフ上に表示します。
- ・警報発生したポイントの形、色、大きさなどが設定できます。
- ・警報発生していない場合は設定しても、無効です。

スタイル	警報発生ポイントに表示するスタイルを選択します。（リストから選択してください。）
色	警報発生ポイントに表示する色を選択します。（クリックして選択してください。）
サイズ	スタイルの大きさを入力します。（数値を入力してください。）



- ※ 警報発生ポイントが多い場合は、表示に時間がかかります。また警報データ点数が 1000 点を超えた場合、以下の警告メッセージ表示後、以降のポイント表示を中止します。



5-8. 連続再生

トレンドが連続的（自動的）にスクロールします。スクロールのスピードや更新データ数を変更することによりスクロールが変化します。





- 「ボタン」
 - 「開始」スクロールが開始します
 - 「停止」一時停止します。再開する場合は開始を押して下さい。
 - 「適用」現在の状態をトレンドグラフに反映します。
- 「メニュー」
 - 「モード」でエンドレスを選んだ場合、データを最後まで再生すると最初に戻ってスクロールを開始します。エンドレスを選ばない場合、データを最後まで再生するとスクロールは止まります。
- 「設定」
 - ①スクロールスピードを調整できます。右に移動するほど速くなります。
 - ②スクロール割合を調整できます。右に移動するほど割合が高くなり、1スクロールで画面が更新する割合が高くなります。
 - ③更新データ数を調整できます。1スクロールで更新するデータ数です。
 - ④画面データ数を調整できます。1画面に表示するデータ数です。

※サーキュラーチャートの場合は①のみ表示します。

※サーキュラーチャートの場合は1画面に表示するデータ数は360点です。

5-9. 画面印刷

トレンド画面を印刷、クリップボード出力またはファイル保存できます。

	印刷します。
	クリップボードに出力します。 トレンドグラフとバーグラフが表示されている場合はどちらか1つを選択します。
	BMP, JPG 形式でファイルに出力します。 トレンドグラフとバーグラフが表示されている場合はどちらか1つを選択します。
	PDF ファイルに出力します。 出力するには Adobe Acrobat9 がインストールされている必要があります。



5-10. カーソル表示

カーソルA Bの表示・非表示、色、線種などが設定できます。

表示	クリックして表示・非表示を選択します。
色	表示する色を選択します。
線種	表示する線種をリストから選択します。 「実線・点線・鎖線」から選択できます。
幅	表示するカーソルの線幅を数値入力します。 大きいほど太くなります。



5-11.トレンドライン

各チャンネルのトレンドの線種、色、形などを設定します。

グラフ タイプ	ライン	ペン式記録計のようにデータ間を線で結び表示します。
	ドット	打点式記録計のようにデータを打点し表示します。
	ライン&ドット	ペン式と打点式を合わせた表示します。 データを打点し、データ間は線で結び表示します。
ライン色	ラインの色を選択します。 ※グラフタイプでドットを選んだ場合は無効です。	
幅	ラインの幅を入力します。大きいほど太く表示します。 ※グラフタイプでドットを選んだ場合は無効です。	
線種	表示する線種をリストから選択します。 「実線・点線・鎖線」から選択できます。 ※グラフタイプでドットを選んだ場合は無効です。	
ドット色	ドットの色を選択します。 ※グラフタイプでラインを選んだ場合は無効です。	
サイズ	ドットを表示するサイズを入力します。 大きいほどドットが大きくなります。 ※グラフタイプでラインを選んだ場合は無効です。	
形	ドット表示する形をリスト選択します。 ※グラフタイプでラインを選んだ場合は無効です。	

トレンド表示							
OK		キャンセル		プレビュー		?	
タグ	グラフタイプ	ライン色	幅	線種	ドット色	サイズ	形
No1	ライン		1	実線		7	なし
No2	ドット		1	実線		7	●
No3	ライン&ドット		1	点線		7	■
No4	ライン		1	鎖線		7	*
No5	ライン		1	実線		7	□
No6	ライン		1	点線		7	△
No7	ドット		1	実線		7	◇
No8	ライン&ドット		1	鎖線		7	なし
No9	ライン		1	実線		7	なし
No10	ライン		1	実線		7	なし
No11	ライン		1	実線		7	なし
No12	ライン		1	実線		7	なし

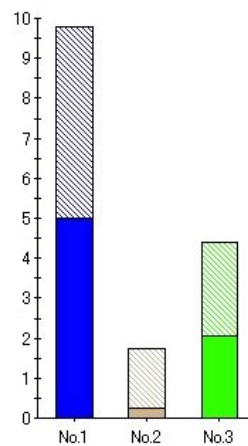
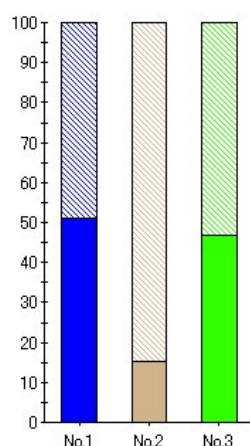
5-12. スケール軸設定

スケールの最大・最小値、目盛表示間隔、対数表示などが設定できます。

スケール	スケールの最大値・最小値を設定します。 「最適化」すべてのデータが表示されるように自動でスケールの最大・最小値を最適化します。通常はこちらを使用します。 「手動」スケール最大・最小値で入力した値がスケールに反映されます。 拡大・縮小する場合に使用してください。	
最大値	スケールの最大値を設定します。 「最適化」の場合は、自動で調整するため無効です。	
最小値	スケールの最小値を設定します。 「最適化」の場合は、自動で調整するため無効です。	
目盛表示	目盛を表示する間隔を選択します。指定した間隔で値を表示します。 「最適化」表示する値を最適な値に切り上げて、スケール軸に表示します。 「手動」ラベル表示間隔で値をスケール軸に表示します。	
ラベル表示間隔	スケール軸に値を表示する間隔を指定します。 「最適化」の場合は、自動で調整するため無効です。	
ラベル傾き	ラベル表示した数値の傾きを指定します。（0～360°）	
補助目盛間隔	補助目盛の間隔を指定します。指定した間隔でスケール軸に補助線が引かれます。 （値の表示はしません。） 「最適化」の場合は、自動で調整するため無効です。	
対数目盛を表示する。	チェックをONにすると、対数目盛表示となります。 ※マルチモードでは表示されません。	
軸を反転する。	スケール軸の上下を反転します。	
100%積み上げ	グラフはすべて同じ高さになり、カーソルA Bの合計が100%になるよう調整されます。※グラフタイプで積層グラフを選択した時のみ表示します。	
時間軸との交点	時間軸との交点を選択します。※サーキュラーチャートでは表示しません。	
	0	時間軸とスケール軸の0で交わります。
	最小値	時間軸とスケール軸の最小値で交わります。
	最大値	時間軸とスケール軸の最大値で交わります。

左：100%積み上げ

右：積層（100%積み上げなし）



5-13. 時間軸設定

1画面に表示する期間を入力することができます。

先頭日時から指定期間のデータを1画面に表示させる時間幅指定方式と、指定した期間のデータを1画面に表示させる範囲指定方式があり、用途に応じた時間軸の変更が可能です。

※入力した時間幅が集録周期より短すぎたり、期間が長すぎたりするとエラーメッセージが出て表示できません。

※サーキュラーチャートの場合は表示されません。

時間幅指定	先頭日時から指定期間のデータを1画面に表示させます。
範囲指定	指定した期間のデータを1画面に表示させます。

5-14. 時間表示間隔設定

時間表示間隔、補助目盛間隔などを設定します。

時間表示間隔	「自動」時間表示をもっとも最適な間隔で表示します。 通常はこちらの方が見やすくなります。 時間軸を拡大・縮小した場合、もっとも見やすい間隔に変更されます。 「データ」指定したデータ間隔で時間表示します。 時間軸を拡大・縮小しても表示間隔は変更されません。
補助目盛間隔	「なし」補助目盛を表示しません。 「データ」指定したデータ間隔で補助目盛を表示します。 ※時間表示間隔が「自動」の場合は選択できません。
表示オプション	時間表示の設定を行います。 表示のフォント、文字色、傾きを設定できます。 表示間隔が短く時間が重なってしまう場合は、文字を傾けてください。

5-15. タイトル

グラフと軸にタイトルを表示します。

タイトルを付けるとグラフや軸が何を表しているのかが明確になります。

「ヘッダー・フッター」・・・グラフのヘッダー、フッターにタイトルを入力できます。

スタイル	「なし」 タイトルを枠で囲わないで表示します。 「平面」 タイトルを枠で囲って表示します。 「立体」 タイトルを立体の枠で囲って表示します。
幅	枠の幅を設定します。「なし」の場合は無効です。
背景色	タイトルの背景色を設定します。
文字色	タイトルの文字色を設定します。

「時間軸」・・・時間軸にタイトルを入力できます。

※サーキュラーチャートの場合は設定できません。

※各項目ともグレー表示しているものは、変更できません。

タイトル	文字を入力します。フォントの設定も可能です。
傾き	表示文字の傾きをリスト選択します。

「スケール軸」・・・スケール軸にタイトルを入力できます。

※サーキュラーチャートの場合は設定できません。

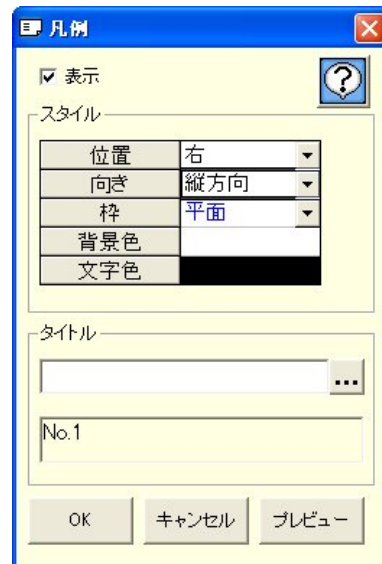
※各項目ともグレー表示しているものは、変更できません。

タイトル	文字を入力します。フォントの設定も可能です。
傾き	表示文字の傾きをリスト選択します。

5-16. 凡例

凡例表示の設定ができます。

表示	凡例の表示・非表示を選択します。
スタイル	凡例表示のスタイルを設定します。
位置	凡例を表示する位置をリスト選択できます。
向き	凡例の向きをリスト選択できます。
枠	凡例を囲む枠をリスト選択できます。
背景色	凡例の背景色を選択できます。
文字色	凡例の文字色を選択できます。
タイトル	凡例に表示するタイトルを入力できます。



5-17. 補助設定

グラフの補助設定を行います。背景色、補助線の線種、色、間隔などが設定できます。

色・・・グラフの表示色を設定します。

グラフ背景色	グラフの背景色を選択できます。
グラフ枠	グラフ枠の色を選択できます。
時間軸	時間軸の色を選択できます。
スケール軸	スケール軸の色を選択できます。
全体背景	画面全体の背景色を選択できます。

壁紙・・・グラフの背景に壁紙を表示することができます。

壁紙	使用を選んだ場合、壁紙に使用する画像（BMP または WMF 形式）を選択してください。
配置	「拡大して表示」 選択した画像を画面いっぱいに引き伸ばして表示します。 「中央」 画像を画面中央に表示します。 「並べて表示」 画像を並べて表示します。

補助線・・・グラフに補助線を表示することができます。

<時間軸>

表示に合わせる	時間表示間隔で指定した間隔で補助線を表示します。
線種	補助線の線種をリスト選択できます。
色	補助線の色を選択できます。
幅	補助線の幅を入力できます。大きいほど太くなります。
表示間隔	補助線の表示間隔を入力できます。 ※「表示に合わせる」場合は無効です。
手前に表示	補助線をグラフの手前に表示するかどうかです。

<スケール軸>

最適化	スケール軸表示間隔で指定した間隔で補助線を表示します。
線種	補助線の線種をリスト選択できます。
色	補助線の色を選択できます。
幅	補助線の幅を入力できます。大きいほど太くなります。
表示間隔	補助線の表示間隔を入力できます。 ※「最適化」の場合は無効です。
手前に表示	補助線をグラフの手前に表示するかどうかです。

補助設定

色

グラフ背景	
グラフ枠	
時間軸	
スケール軸	
全体背景	

壁紙

☒ 未使用
☐ 使用

配置

中央

補助線

時間軸

☒ 表示に合わせる

線種	点線
色	
幅	1
表示間隔	100
手前に表示	OFF

スケール軸

☒ 最適化

線種	点線
色	
幅	1
表示間隔	1
手前に表示	OFF

OK キャンセル プレビュー ?

5-18. 拡大・縮小・回転

マウスによるインタラクティブ操作で、グラフを移動・拡大・縮小、ズーム、回転することができます。

移動	グラフを移動できます。
拡大・縮小	グラフを拡大・縮小できます。
部分拡大	グラフを範囲指定して（枠が表示されます。）、その範囲を拡大表示できます。
回転	奥行きを設定し、回転させると斜めから見たグラフになり 3D 表示します。 ※サーキュラーチャートでは選択できません。

5-19. マルチスケール軸設定

マルチスケール軸の設定を行います。下記の項目を設定できます。

- 下限：スケールの下限值を入力します。
- 上限：スケールの上限值を入力します。
- 分割数：目盛板を分割する数を入力します。
- 補助数：分割した目盛をさらに短い目盛で分割する数を入力します。
- 目盛板表示：マルチスケールとして設定する目盛板を選択します。最大4つ選択できます。
- 設定内容を保存する（次回再生時も適用）：ここにチェックを付けると次回、ファイルを開く時に本画面の設定内容が有効になります。






マルチスケール軸設定

OK ☒ 設定内容を保存する(次回再生時も適用)

目盛板	下限	上限	分割数	補助数	目盛板表示
No.1	-10.0	10.0	4	5	<input checked="" type="checkbox"/>
No.2	-10.00	10.00	4	5	<input checked="" type="checkbox"/>
No.3	-10.00	10.00	4	5	<input checked="" type="checkbox"/>
No.4	-10.00	10.00	4	5	<input checked="" type="checkbox"/>
No.5	-10.00	10.00	4	5	<input type="checkbox"/>
No.6	-10.00	10.00	4	5	<input type="checkbox"/>
No.7	-10.00	10.00	4	5	<input type="checkbox"/>
No.8	-10.00	10.00	4	5	<input type="checkbox"/>
No.9	-10.00	10.00	4	5	<input type="checkbox"/>
No.10	-10.00	10.00	4	5	<input type="checkbox"/>
No.11	-10.00	10.00	4	5	<input type="checkbox"/>
No.12	-10.00	10.00	4	5	<input type="checkbox"/>
No.13	-10.00	10.00	4	5	<input type="checkbox"/>
No.14	-10.00	10.00	4	5	<input type="checkbox"/>
No.15	-10.00	10.00	4	5	<input type="checkbox"/>
No.16	-10.00	10.00	4	5	<input type="checkbox"/>
No.17	-10.00	10.00	4	5	<input type="checkbox"/>

5-20. オーディット一覧

- ・オーディット一覧を表形式で表示します。
- ・選択した行をダブルクリックすると、詳細情報をダイアログで表示します。

	印刷設定を行います。
	印刷します。
	PDF ファイルに出力します。 出力するには Adobe Acrobat9 がインストールされている必要があります。
	抽出条件に従って抽出したオーディットを表示します。 時刻を指定して抽出する場合は、[****/**/** **:**:**] の書式で指定して下さい。 月/日 時:分は必ず指定してください。 例 1. 2009/10/14 10:28:31 例 2. 1/14 1:28
	検索条件に従って検索したオーディットの行を選択します。 時刻を指定して検索する場合は、[****/**/** **:**:**] の書式で指定して下さい。 月/日 時:分は必ず指定してください。 例 1. 2009/10/14 10:28:31 例 2. 1/14 1:28






オーディット一覧			
ヘルプを表示します。			
	時刻	内容	実行者
1	2009/10/29 16:14:35.0	アラームACK	1234567890123
2	2009/10/29 16:21:50.0	入力演算設定	1234567890123
3	2009/10/29 16:22:03.0	アラームACK	1234567890123
4	2009/10/29 16:46:16.0	入力演算設定	1234567890123
5	2009/10/29 16:46:18.0	START	1234567890123
6	2009/10/29 16:46:35.0	マーカ書き込み	1234567890123
7	2009/10/29 16:46:41.0	マーカ書き込み	1234567890123
8	2009/10/29 16:46:46.0	STOP	1234567890123

< 詳細情報 >

オーディット情報	
日時	2010/01/15 17:46:15.0
内容	記録周期変更
名前	User-01
設定ファイル名	20100115174615.kps
変更前	0.2秒
変更後	15秒

5-2 1. アラームサマリ



アラームサマリを表形式で表示します。



	印刷設定を行います。
	印刷します。
	PDF ファイルに出力します。 出力するには Adobe Acrobat9 がインストールされている必要があります。
	抽出条件に従って抽出したアラームサマリを表示します。 時刻を指定して抽出する場合は、[****/**/* *:***]** の書式で指定して下さい。 月/日 時:分は必ず指定してください。 例 1. 2009/10/14 10:28:31 例 2. 1/14 1:28
	検索条件に従って検索したアラームサマリの行を選択します。 時刻を指定して検索する場合は、[****/**/* *:***]** の書式で指定して下さい。 月/日 時:分は必ず指定してください。 例 1. 2009/10/14 10:28:31 例 2. 1/14 1:28

アラームサマリ				
	発生時刻	復旧時刻	チャンネル	種類
1	2009/10/29 15:32:03	2009/10/29 15:32:19	CH 2	AL1 下限
2	2009/10/29 15:32:05	2009/10/29 15:32:17	CH 1	AL1 下限
3	2009/10/29 15:32:35	2009/10/29 15:32:50	CH 2	AL1 下限
4	2009/10/29 15:32:37	2009/10/29 15:32:48	CH 1	AL1 下限
5	2009/10/29 15:33:06	2009/10/29 15:33:22	CH 2	AL1 下限
6	2009/10/29 15:33:08	2009/10/29 15:33:20	CH 1	AL1 下限
7	2009/10/29 15:33:37	2009/10/29 15:33:53	CH 2	AL1 下限
8	2009/10/29 15:33:40	2009/10/29 15:33:51	CH 1	AL1 下限
9	2009/10/29 15:34:09	2009/10/29 15:34:25	CH 2	AL1 下限
10	2009/10/29 15:34:11	2009/10/29 15:34:23	CH 1	AL1 下限
11	2009/10/29 15:34:40	2009/10/29 15:34:56	CH 2	AL1 下限
12	2009/10/29 15:34:42	2009/10/29 15:34:54	CH 1	AL1 下限
13	2009/10/29 15:35:12	2009/10/29 15:35:27	CH 2	AL1 下限
14	2009/10/29 15:35:14	2009/10/29 15:35:25	CH 1	AL1 下限
15	2009/10/29 15:35:43	2009/10/29 15:35:59	CH 2	AL1 下限
16	2009/10/29 15:35:45	2009/10/29 15:35:57	CH 1	AL1 下限

5-2 2. ファイルプロパティ

- ・データファイルの情報を表形式で表示します。
- ・選択した行をダブルクリックすると、詳細情報をダイアログで表示します。

	印刷します。
	PDF ファイルに出力します。 出力するには Adobe Acrobat9 がインストールされている必要があります。




ファイルプロパティ				
				
	ファイル名	開始日時	終了日時	データ数
1	Group-01 (20100106145357-056020)M000A0065L0000.kps	2010/01/06 14:53:57	2010/01/06 14:55:27	18

< 詳細情報 >

ファイル情報	
開始日時	2010/01/13 13:15:14
終了日時	2010/01/13 13:15:17
インターバル	1秒
データ数	4
機器名称	KR3-Part11 Debug
製造番号	
メインCPUバージョン	100106
設定ファイル名	20100113131500.kps
SIGN 名前	User-01
SIGN 日時	2010/01/15 16:25:42
Sign2 名前	
Sign2 日時	
Sign3 名前	
Sign3 日時	
Sign 04 名前	
Sign 04 日時	

6. 設定パラメーター一覧

設定パラメータを表形式で表示します。

	ファイル選択ダイアログが表示されます。 設定ファイルを選択して下さい。
	印刷プレビューが表示されます。
	印刷します。

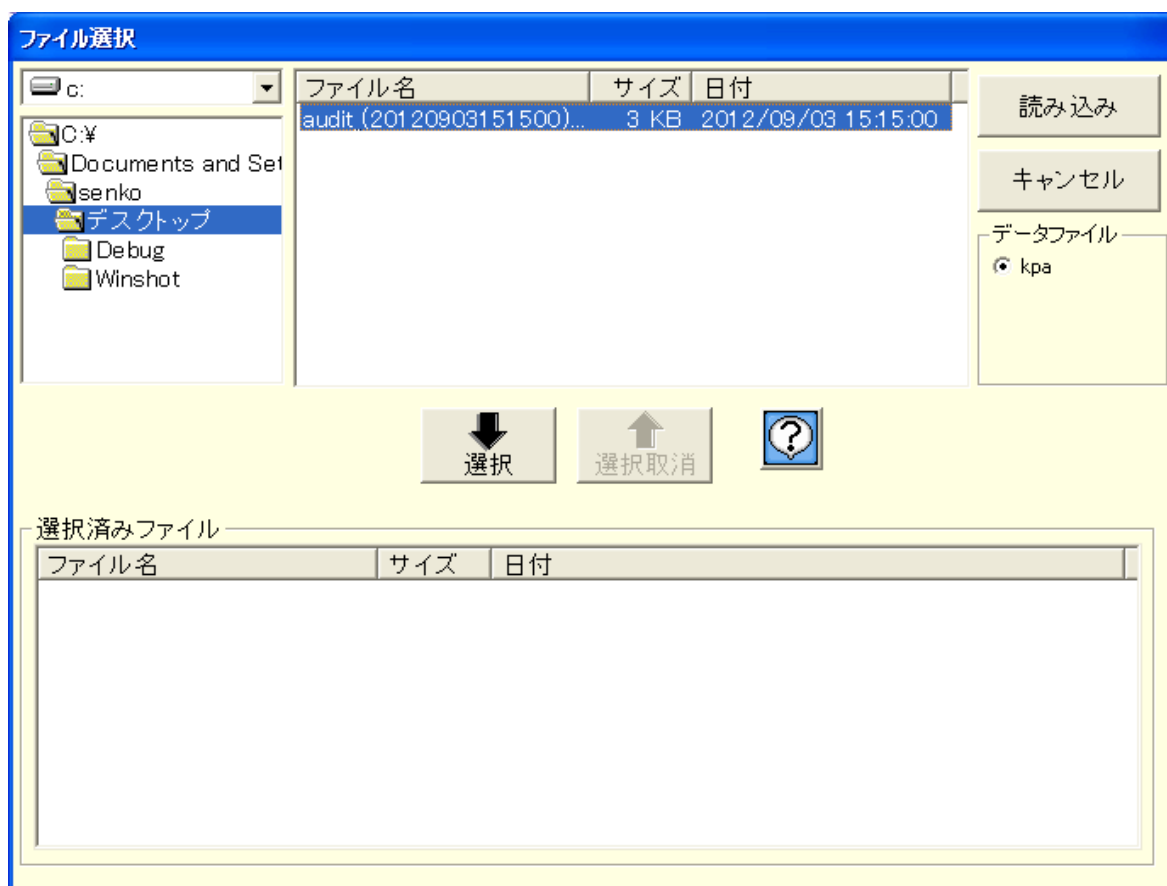
設定パラメーター一覧									
CH1パラメータ									
入力種類	10V			演算	なし	演算式			
レンジ Min	-10.00	レンジ Max	10.00	自動リセット	ON				
スカール Min	-10.00	スカール Max	10.00	DIによるリセット	なし				
センサ補正	1.00	タグ	Tag-CH01	基準時刻	12:34				
RJ	外部	単位	V	インターバル	23:45				
バーンアウト	なし			下位接続機	----				
フィルタレベル	システム設			CHNo.	1				
CH2パラメータ									
入力種類	13.8mV			演算	なし	演算式			
レンジ Min	-1.380	レンジ Max	13.800	自動リセット	OFF				
スカール Min	-13.80	スカール Max	300.00	DIによるリセット	なし				
センサ補正	0.00	タグ	ABCDEFGH IJKLMNOP	基準時刻	00:00				
RJ	外部	単位	mV	インターバル	24:00				
バーンアウト	なし			下位接続機	----				
フィルタレベル	0			CHNo.	2				
CH3パラメータ									
入力種類	K			演算	なし	演算式			
レンジ Min	-200	レンジ Max	1370	自動リセット	OFF				
スカール Min	-200	スカール Max	1370	DIによるリセット	なし				
センサ補正	0	タグ		基準時刻	00:00				
RJ	内部	単位	ABCDEFG	インターバル	24:00				

7. オーディット一覧

7-1. ファイル選択







- ・ ファイルの選択を行います。(ZAILA-P では下記のファイルを扱います。)








拡張子	説明
KPA	KR2000P/3000P シリーズで作成されるファイルです。 ファイル名は audit_(yyyymmddhhmmss).kpa という形式で作成されます。



7-2. オーディット一覧

- ・オーディット一覧を表形式で表示します。
- ・選択した行をダブルクリックすると、詳細情報をダイアログで表示します。

	印刷設定を行います。
	印刷します。
	PDF ファイルに出力します。 出力するには Adobe Acrobat9 がインストールされている必要があります。
	抽出条件に従って抽出したオーディットを表示します。 時刻を指定して抽出する場合は、[****/**/* *:***]** の書式で指定して下さい。 月/日 時:分は必ず指定して下さい。 例 1. 2009/10/14 10:28:31 例 2. 1/14 1:28
	検索条件に従って検索したオーディットの行を選択します。 時刻を指定して検索する場合は、[****/**/* *:***]** の書式で指定して下さい。 月/日 時:分は必ず指定して下さい。 例 1. 2009/10/14 10:28:31 例 2. 1/14 1:28
	ファイルプロパティが表示されます。



オーディット一覧			
      			
	時刻	内容	実行者
1	2012/09/03 15:04:12	電源オン	
2	2012/09/03 15:14:36	パスワード設定	Administrator
3	2012/09/03 15:14:39	ログイン	Administrator



< 詳細情報 >

オーディット情報	
日時	2012/09/03 15:04:12
内容	電源オン

7-3. ファイルプロパティ

- データファイルの情報を表形式で表示します。
- 選択した行をダブルクリックすると、詳細情報をダイアログで表示します。

	印刷します。
	PDF ファイルに出力します。 出力するには Adobe Acrobat9 がインストールされている必要があります。

ファイルプロパティ			
			
	ファイル名	開始日時	終了日時
1	audit_(20120903151500).kpa	2012/09/03 15:04:12	2012/09/03 15:14:58

< 詳細情報 >

ファイル情報	
開始日時	2012/09/03 15:04:12
終了日時	2012/09/03 15:14:58
機器名称	
製造番号	
メインCPUバージョン	120829
Sign1 名前	
Sign1 日時	
Sign2 名前	
Sign2 日時	
Sign3 名前	
Sign3 日時	
Sign4 名前	
Sign4 日時	

8. その他の設定

- その他の設定を表示します。
- ファイルを開いたときに改ざんの有無を表示する場合はチェックを入れます。

その他の設定	
その他の設定	
<input checked="" type="checkbox"/>	ファイルを開いた時に改ざんの有無を表示する。
OK キャンセル	

9. よくある質問（FAQ）

よくある質問とその回答をまとめました。参考にして下さい。

Q	質問内容
1	時間軸を変更したい。
2	スケールを変更してグラフを拡大したい。
3	1つのグラフ上に複数のスケール軸を表示したい。
4	トレンド表示を変更したい。
5	データをCSVにしたい。（エクセルなどのソフトで使いたい）
6	最大値・最小値を検索したい。
7	グラフにカーソルを表示し、そのポイントのデータを表示したい。
8	複数のチャンネルが1画面に表示されている場合分かりづらいので1チャンネルのみ表示したい。
9	グラフにタイトルを入力したい。
10	グラフ上のデータにメッセージを入力したい。
11	出力するPDFファイルに編集制限をかけたい。



時間軸を変更したい。



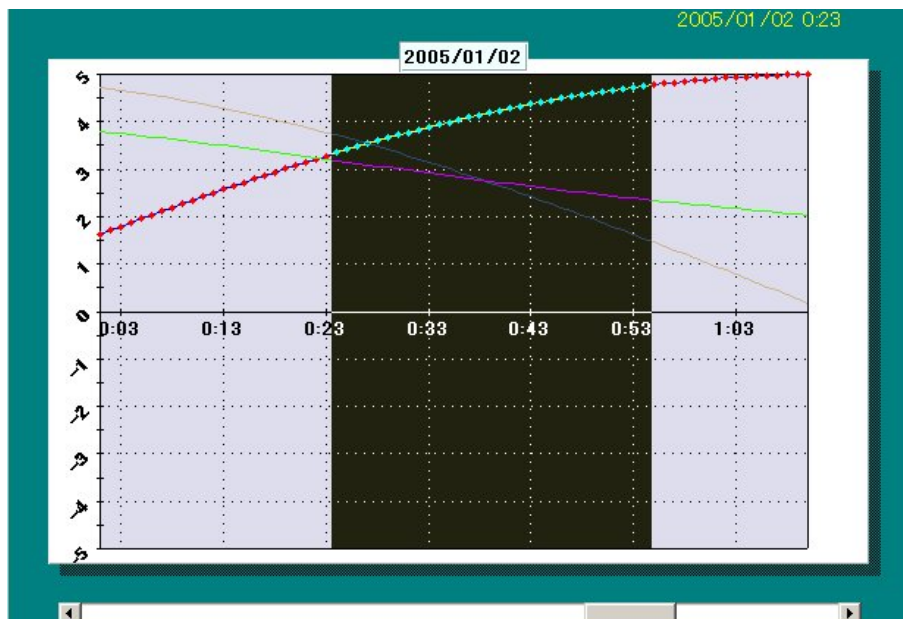
トレンドグラフが横・縦流れの場合は、

①マウスによる時間軸の拡大と、②キーボードによる時間軸の範囲指定の2種類あります。


※サーキュラーチャートの場合は、1周360点の固定表示となります。

①マウスによる時間軸の拡大

拡大したい点でマウスの左ボタンを押し（始点を決定）、そのままドラッグ（マウスを移動）して拡大したい点（終点を決定）でマウスの左ボタンを離します。（黒色反転している範囲が拡大されます。）



②キーボードによる時間軸の範囲指定

ツールバーをクリックし、下図の画面を開きます。

時間幅を入力してOKをクリックすると、入力内容にエラーがなければ指定した範囲を表示します。



スケールを変更してグラフを拡大したい。



トレンドグラフが横・縦流れの場合は、

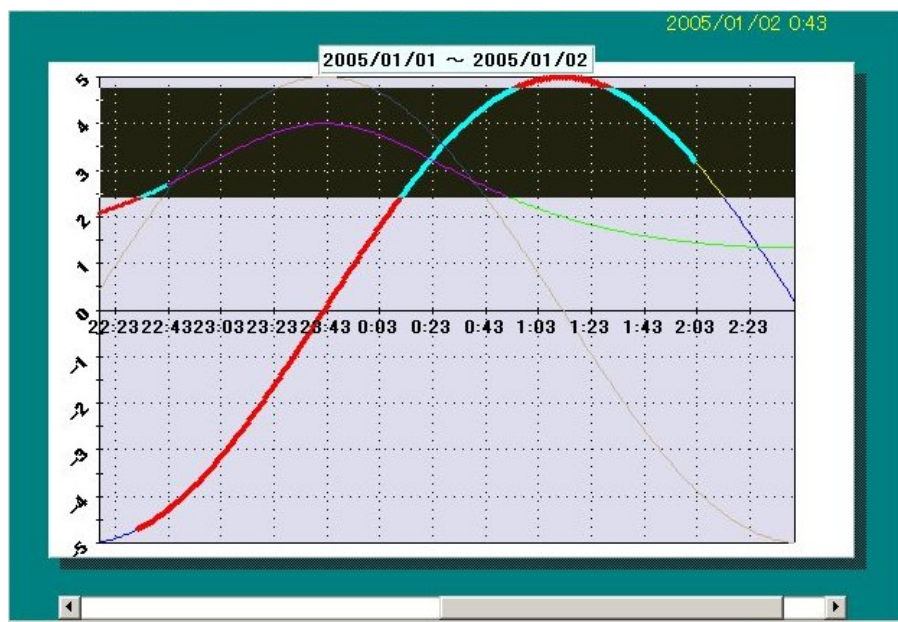
①マウスによるスケール変更と、②キーボードによるスケール変更の2種類あります。

※サーキュラーチャートの場合は、②のみです。


※スケールを変更せずにグラフを拡大することも可能です。

①マウスによるスケール変更

拡大したい点でマウスの右ボタンを押し（始点を決定）、そのままドラッグ（マウスを移動）して拡大したい点（終点を決定）でマウスの右ボタンを離します。（黒色反転している範囲が拡大されます。）



②キーボードによるスケールの範囲指定

ツールバーをクリックし、下画面を開きます。

スケール最大・最小を入力して、OKをクリックすると、入力内容にエラーがなければ指定した範囲を表示します。



1つのグラフ上に複数のスケール軸を表示したい。



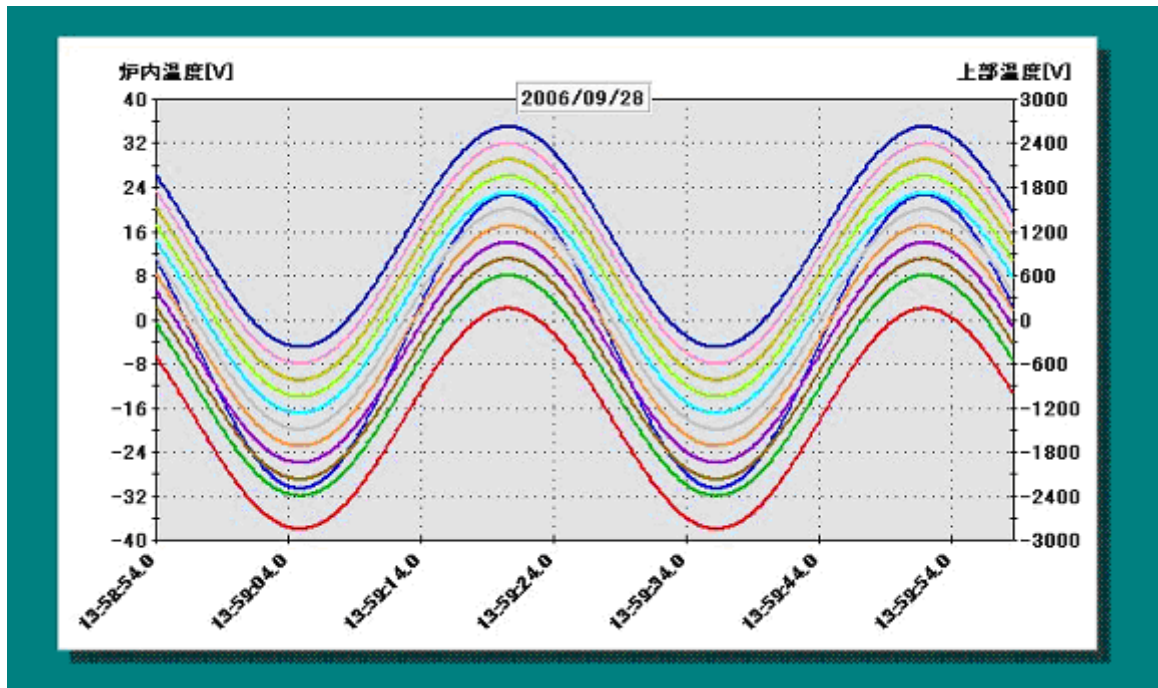
スケール軸は「ダブル」で2つ、「マルチ」で4つまで表示できます。


＜ダブルの表示方法＞

ツールバーをクリックします。

「ダブル」に切り替えます。スケール最大・最小値を変更することも可能です。
スケール軸が2つ表示されます。

※サーキュラーチャートの場合は1つのみです。



スケール軸に表示するチャンネルを切り替えるには、ツールバーをクリックします。
表示するチャンネルを登録します。

スケール

手動

最大値(%)

100

最小値(%)

0

目盛表示

最適化

ラベル表示間隔

10

ラベル傾き

0

補助目盛間隔

5

☐ 軸を反転する

時間軸との交点

☐ 自動
 ☒ 最小値
 ☐ 最大値

OK

キャンセル

プレビュー

?

CH

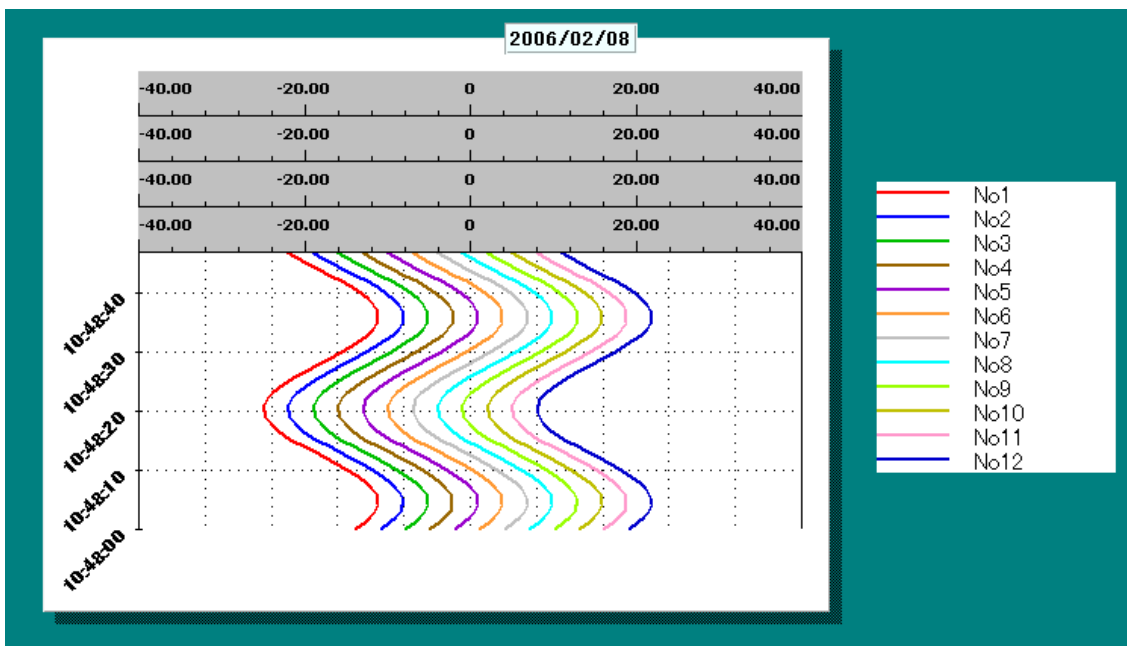
スケール軸

No.	左	右
1	●	
2		●
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		

＜マルチの表示方法＞

ツールバー  をクリックします。

「マルチ」に切り替えます。スケール最大・最小値を変更することも可能です。
スケール軸が最大4つまで表示されます。※サーキュラーチャートの場合は1つのみです。



スケール軸に表示するチャンネルを切り替えるには、
マルチスケール軸設定画面で行います。

マルチスケール軸設定

OK ☐ 設定内容を保存する(次回再生時も適用)

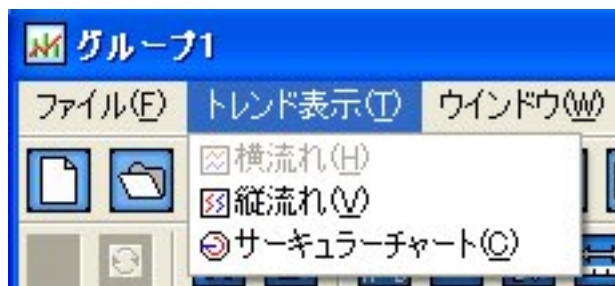
目盛板	下限	上限	分割数	補助数	目盛板表
No.1	-40.00	40.00	4	5	<input checked="" type="checkbox"/>
No.2	-40.00	40.00	4	5	<input checked="" type="checkbox"/>
No.3	-40.00	40.00	4	5	<input checked="" type="checkbox"/>
No.4	-40.00	40.00	4	5	<input checked="" type="checkbox"/>
No.5	-40.00	40.00	4	5	<input type="checkbox"/>
No.6	-40.00	40.00	4	5	<input type="checkbox"/>
No.7	-40.00	40.00	4	5	<input type="checkbox"/>
No.8	-40.00	40.00	4	5	<input type="checkbox"/>
No.9	-40.00	40.00	4	5	<input type="checkbox"/>
No.10	-40.00	40.00	4	5	<input type="checkbox"/>
No.11	-40.00	40.00	4	5	<input type="checkbox"/>
No.12	-40.00	40.00	4	5	<input type="checkbox"/>
No.13	0	0	4	5	<input type="checkbox"/>
No.14	0	0	4	5	<input type="checkbox"/>
No.15	0	0	4	5	<input type="checkbox"/>
No.16	0	0	4	5	<input type="checkbox"/>
No.17	0	0	4	5	<input type="checkbox"/>



トレンド表示を変更したい。




トレンドは「横流れ・縦流れ・サーキュラーチャート」の3種類あります。
いずれもメニューバーから変更できます。



データをCSVに変換したい。(または印刷したい。)



データをCSVに変換するにはデータ一覧を開きます。

「CSVに変換」



フロッピーのアイコンをクリックすると、ファイルに保存できます。
CSV形式以外に、テキスト形式(タブ区切り)にも変換可能です。

「印刷」



プリンタのアイコンをクリックすると印刷します。

データ一覧							
画面(D) スキップ設定(S)							
ALL A B [Printer Icon] [Wrench Icon] [Floppy Icon] [X Icon] PDF [List Icon] [Chart Icon] [Help Icon]							
	時刻	No1 [V]	No2 [V]	No3 [V]	No4 [V]	No5 [V]	No6 [V]
1	2009/10/29 16:46:19	-13.45	-10.45	-7.45	-4.45	-1.45	1.55
2	2009/10/29 16:46:20	-13.96	-10.96	-7.96	-4.96	-1.96	1.04
3	2009/10/29 16:46:21	-14.62	-11.62	-8.62	-5.62	-2.62	0.38
4	2009/10/29 16:46:22	-15.42	-12.42	-9.42	-6.42	-3.42	-0.42
5	2009/10/29 16:46:23	-16.33	-13.33	-10.33	-7.33	-4.33	-1.33
6	2009/10/29 16:46:24	-17.3	-14.3	-11.3	-8.3	-5.3	-2.3
7	2009/10/29 16:46:25	-18.29	-15.29	-12.29	-9.29	-6.29	-3.29
8	2009/10/29 16:46:26	-19.28	-16.28	-13.28	-10.28	-7.28	-4.28
9	2009/10/29 16:46:27	-20.21	-17.21	-14.21	-11.21	-8.21	-5.21
10	2009/10/29 16:46:28	-21.06	-18.06	-15.06	-12.06	-9.06	-6.06
11	2009/10/29 16:46:29	-21.78	-18.78	-15.78	-12.78	-9.78	-6.78
12	2009/10/29 16:46:30	-22.36	-19.36	-16.36	-13.36	-10.36	-7.36
13	2009/10/29 16:46:31	-22.76	-19.76	-16.76	-13.76	-10.76	-7.76



最大値・最小値を検索したい。

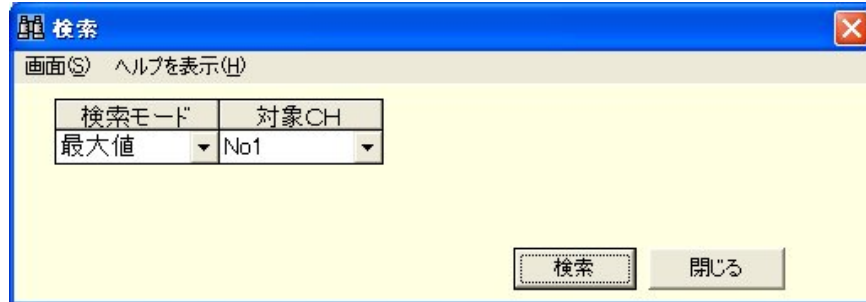


ツールバーの検索をクリックします。

下図が表示されますので、検索モードで「最大値」「最小値」を選んで下さい。

対象CHには、検索対象となるチャンネルを選んで下さい。

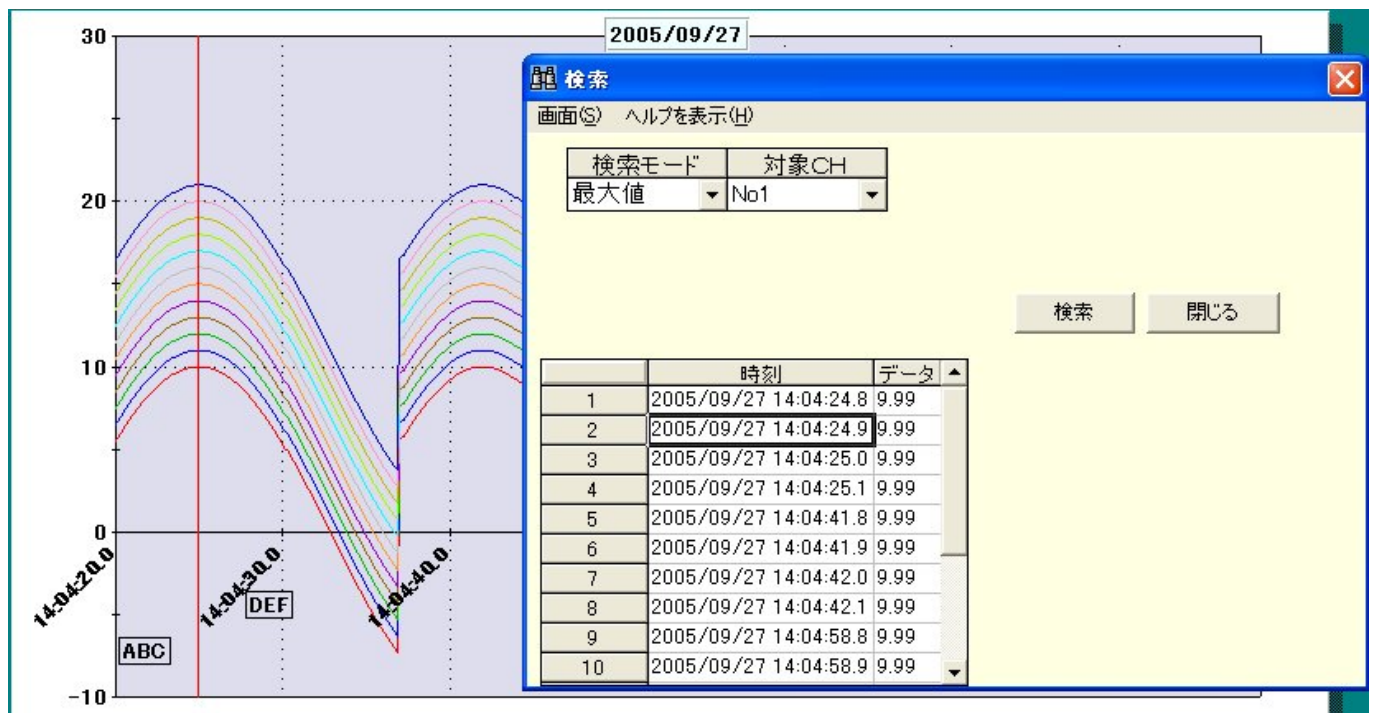
「すべて」を選ぶと全てのチャンネルを検索します。検索ボタンを押すと、検索が開始されます。



※検索モードは他に

「平均値」「標準偏差」「中央値」「手動入力」「時刻」「カーソル」「メッセージ」「警報」があります。詳細は 5-5 を参照してください。

検索結果がリスト表示されますので、そのリストをクリックすると、そのポイントにカーソルが表示され、その位置が分かります。該当なしの場合は、リスト表示されません。






グラフにカーソルを表示し、そのポイントのデータを表示したい。



カーソルは2本表示することができます。ここではカーソルA、カーソルBと呼びます。

カーソル **A**, **B** のボタンをクリックします。トレンド画面上でクリックすると、そのクリックした場所からもっとも近いポイントにカーソルA、Bが設置されます。

ツールバー  をクリックすると、カーソルの詳細情報が表示されます。
カーソル間のデータ差や、最大、最小、平均などを表示します。

	カーソルA	カーソルB	A-B	全データ 最大値	全データ 最小値	全データ 平均値	全データ 標準偏差
時刻	2005/09/27 14:04:33.8	2005/09/27 14:04:29.9	0.039				
No1	-1.93	5.52	-7.45	9.99	-8.04	4.366851315.507350466	
No2	-0.93	6.52	-7.45	10.99	-7.04	5.366851315.507350467	
No3	0.07	7.52	-7.45	11.99	-6.04	6.366851315.507350468	
No4	1.07	8.52	-7.45	12.99	-5.04	7.366851315.507350469	
No5	2.07	9.52	-7.45	13.99	-4.04	8.366851315.507350470	
No6	3.07	10.52	-7.45	14.99	-3.04	9.366851315.507350471	
No7	4.07	11.52	-7.45	15.99	-2.04	10.366851315.507350472	
No8	5.07	12.52	-7.45	16.99	-1.04	11.366851315.507350473	
No9	6.07	13.52	-7.45	17.99	-0.04	12.366851315.507350474	
No10	7.07	14.52	-7.45	18.99	0.96	13.366851315.507350475	
No11	8.07	15.52	-7.45	19.99	1.96	14.366851315.507350476	

また、カーソルA Bをバーグラフ表示することも可能です。



をクリックします。グラフを表示にして、表示する場所を選ぶとバーグラフが表示されます。

グラフ	表示
グラフタイプ	棒グラフ
向き	縦方向
重なり	0
幅	50

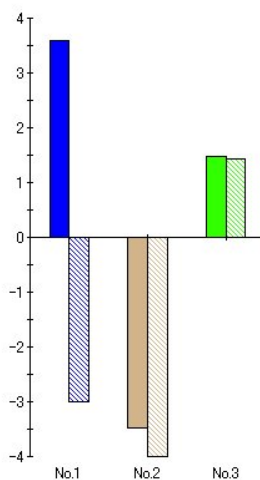
OK キャンセル プレビュー ?

配置



<バーグラフ>

同一チャンネル内では左がカーソルAの値で、右がカーソルBの値です。





- 1 チャンネルのみ表示したい。
(複数チャンネルが1画面に表示されている場合、分かりづらいため)



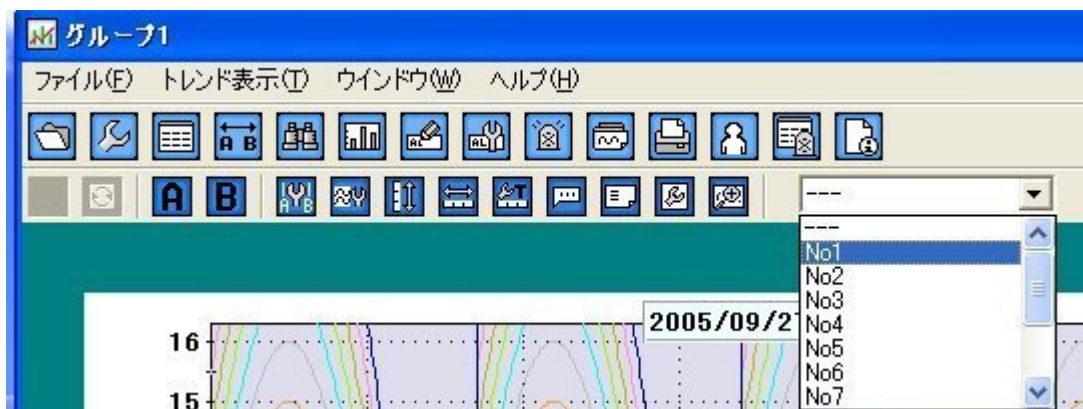
- 1 チャンネルを強調表示する方法と登録チャンネルを削除する方法があります。

「強調表示する方法」

下図のように、リストから選択すると、そのチャンネルのみを表示します。

(スケールも自動的に変更します)

1画面に複数のチャンネルがあり見づらい場合に切り替えて表示することができます。
一番上のリスト「---」を選択すれば、全チャンネル表示に戻ります。




「登録チャンネルを削除する方法」

複数登録されている場合、1つのみ登録すれば、そのチャンネルのみ表示されます。

1画面に1つのチャンネルしか表示されません。

複数のチャンネルを切り替えて表示することはできません。

ツールバーのチャンネル登録をクリックします。

下図で基準CHを「---」：なしにするか表示のチェックを外すと、登録削除になります。

使用チャンネルの登録											
OK		キャンセル		?		スケール軸		C = A - B			
						シングル		ダブル		マルチ	
CH	表示	A 基準CH	-/+	B 引くCH	B 引く値	スケール 最小値	スケール 最大値	スケール 小数点	タグ	単位	指数表示
No1	<input checked="" type="checkbox"/>	No1	-	---	0	-10.00	10.00		2 No1	V	---
No2	<input checked="" type="checkbox"/>	No2	-	---	0	-10.00	10.00		2 No2	V	---
No3	<input checked="" type="checkbox"/>	No3	-	---	0	-10.00	10.00		2 No3	V	---
No4	<input checked="" type="checkbox"/>	No4	-	---	0	-10.00	10.00		2 No4	V	---
No5	<input checked="" type="checkbox"/>	No5	-	---	0	-10.00	10.00		2 No5	V	---
No6	<input checked="" type="checkbox"/>	No6	-	---	0	-10.00	10.00		2 No6	V	---
No7	<input checked="" type="checkbox"/>	No7	-	---	0	-10.00	10.00		2 No7	V	---
No8	<input checked="" type="checkbox"/>	No8	-	---	0	-10.00	10.00		2 No8	V	---
No9	<input checked="" type="checkbox"/>	No9	-	---	0	-10.00	10.00		2 No9	V	---
No10	<input checked="" type="checkbox"/>	No10	-	---	0	-10.00	10.00		2 No10	V	---
No11	<input checked="" type="checkbox"/>	No11	-	---	0	-10.00	10.00		2 No11	V	---
No12	<input checked="" type="checkbox"/>	No12	-	---	0	-10.00	10.00		2 No12	V	---
No13	<input type="checkbox"/>	---	-	---	0				CH13		---
No14	<input type="checkbox"/>	---	-	---	0				CH14		---



グラフにタイトルを入力したい。



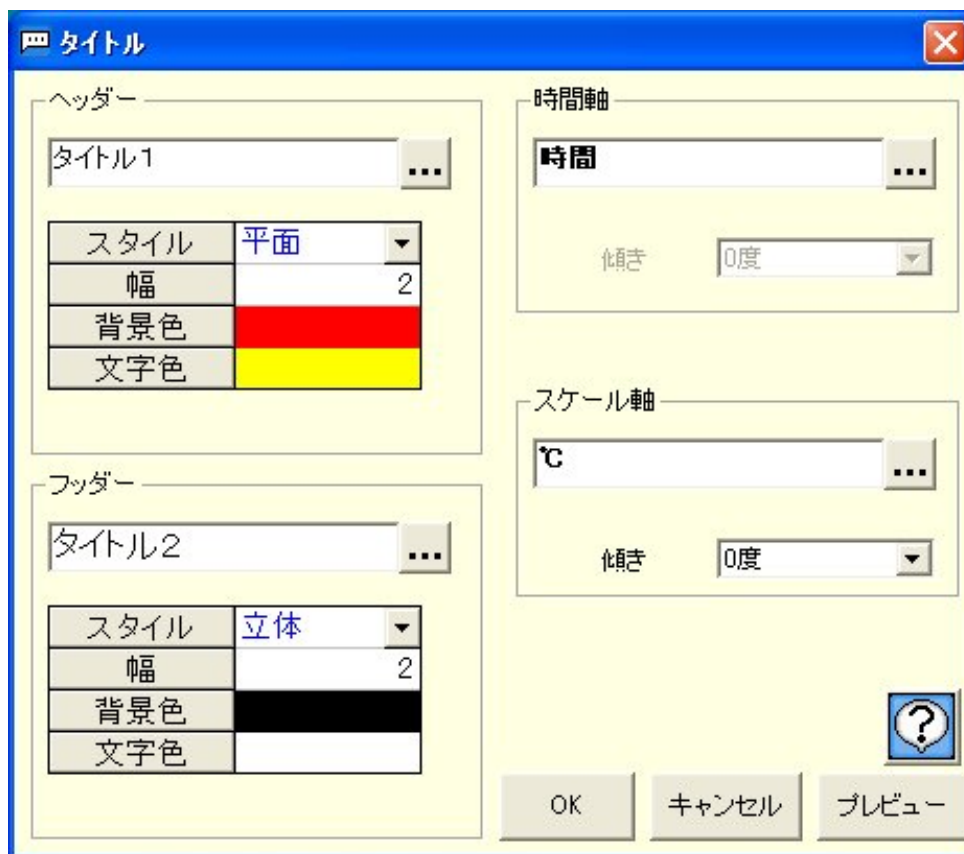
ツールバーのタイトル  をクリックします。

下図が表示されますのでタイトルを入力してください。
ヘッダー、フッターはグラフの上下に表示されます。

時間軸、スケール軸にもタイトルを入力することが可能です。

(サーキュラーチャートの場合は除く)

※タイトルを付けるとグラフや軸が何を表しているのかが明確になります。



タイトル

ヘッダー

タイトル1

スタイル	平面
幅	2
背景色	
文字色	

フッター

タイトル2

スタイル	立体
幅	2
背景色	
文字色	

時間軸

時間

傾き 0度

スケール軸

℃

傾き 0度


?

OK キャンセル プレビュー

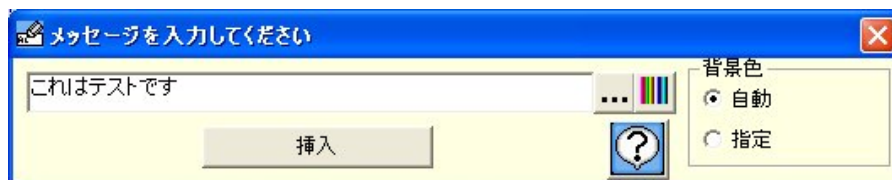


グラフにメッセージを入力したい。



メッセージを入力するには、メッセージアイコンをクリックします。

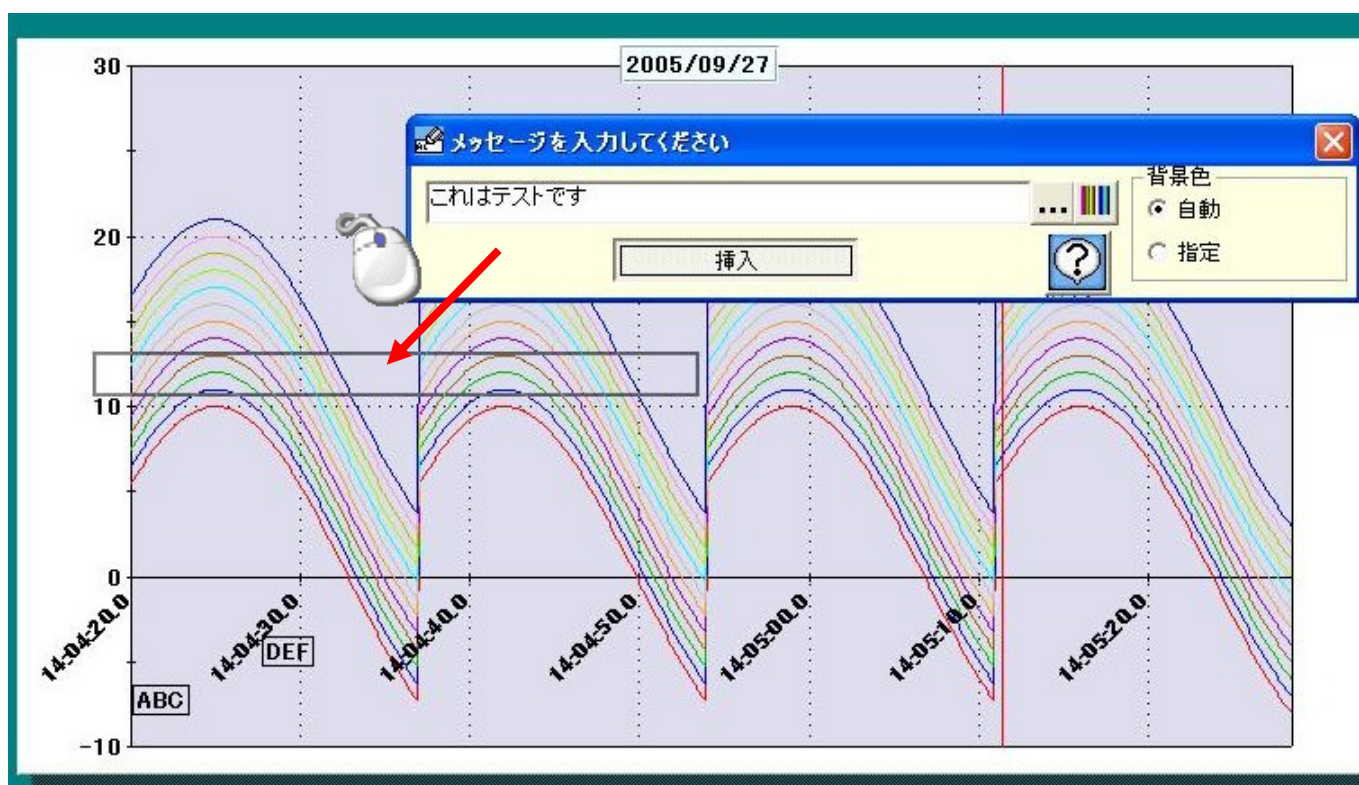
下図が表示されますので、表示したいメッセージを入力します。
文字色、フォント、背景色も変更できます。



挿入ボタンを押し、入力したメッセージをマウスの左ボタンを押しながらトレンド画面に移動します（ドラッグする）。

トレンド画面にマウスが移動すると、フレームの枠が強調表示されますのでマウスの左ボタンを離して下さい（ドロップ）。

もっとも近いデータのポイントにメッセージが挿入されます。





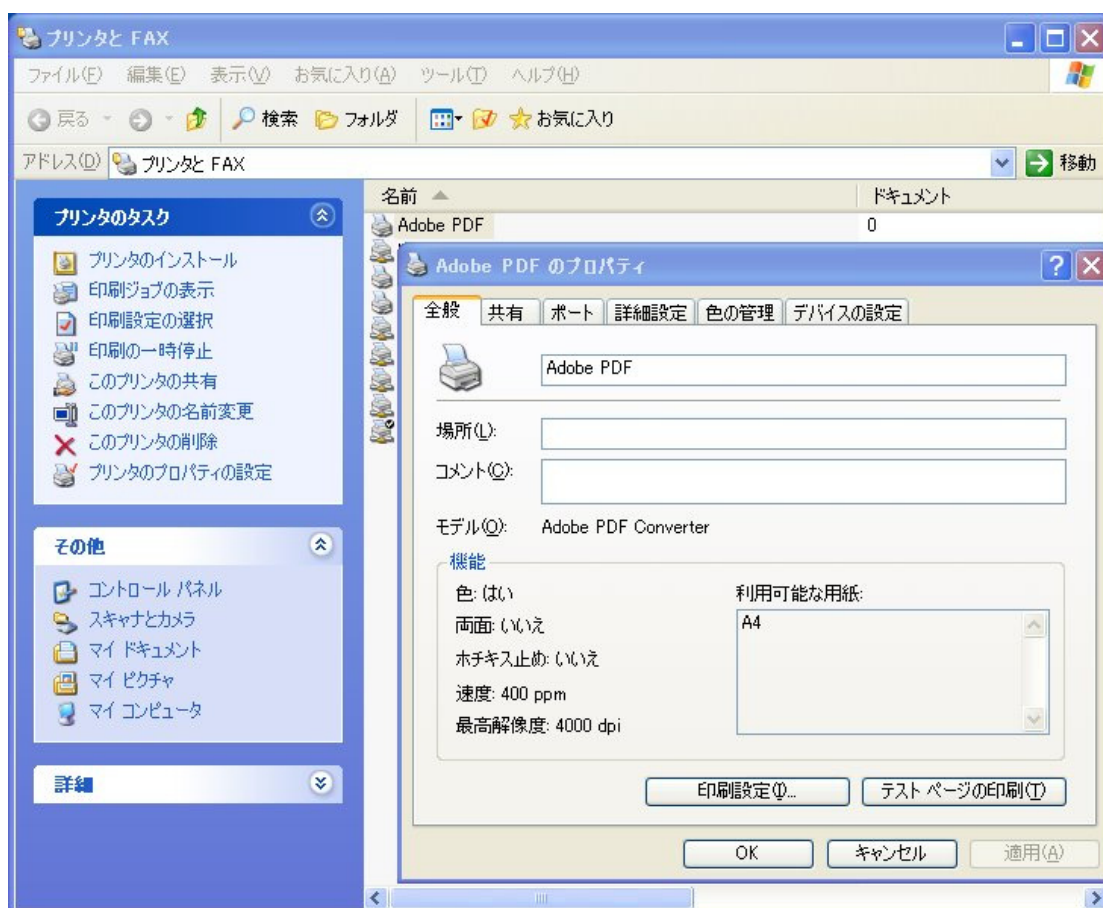
出力する PDF ファイルに編集制限をかけたい。



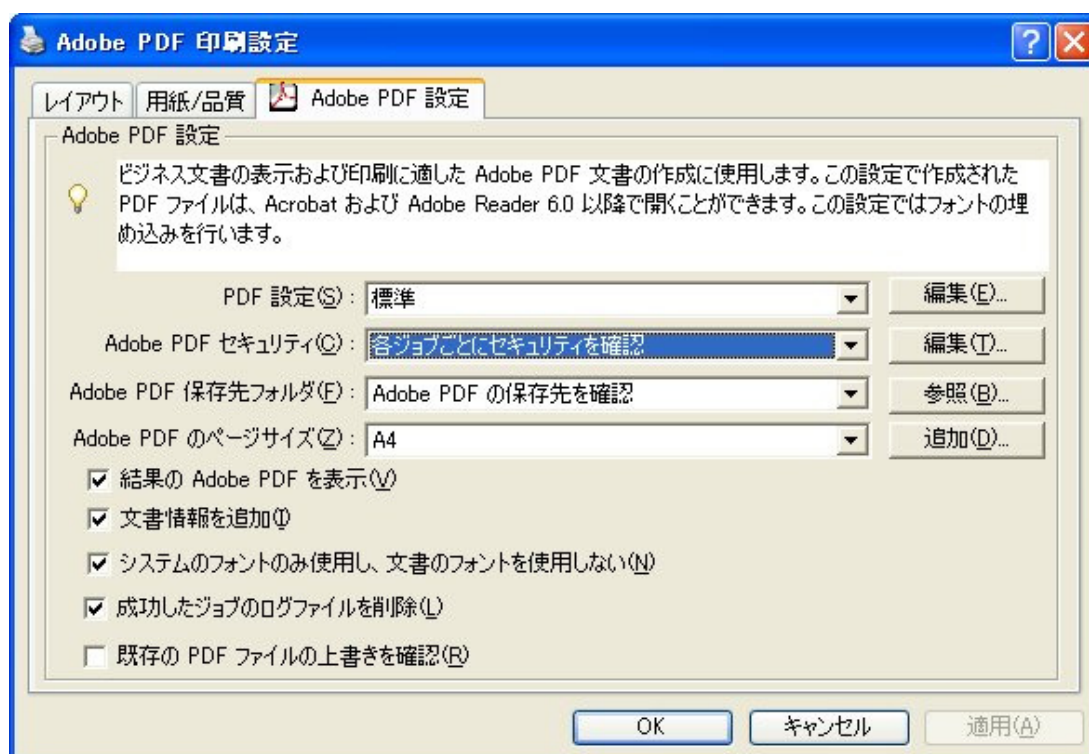
PDF ファイルを作成する仮想プリンタの設定を変更することにより、編集制限をかけることができます。

「設定方法」

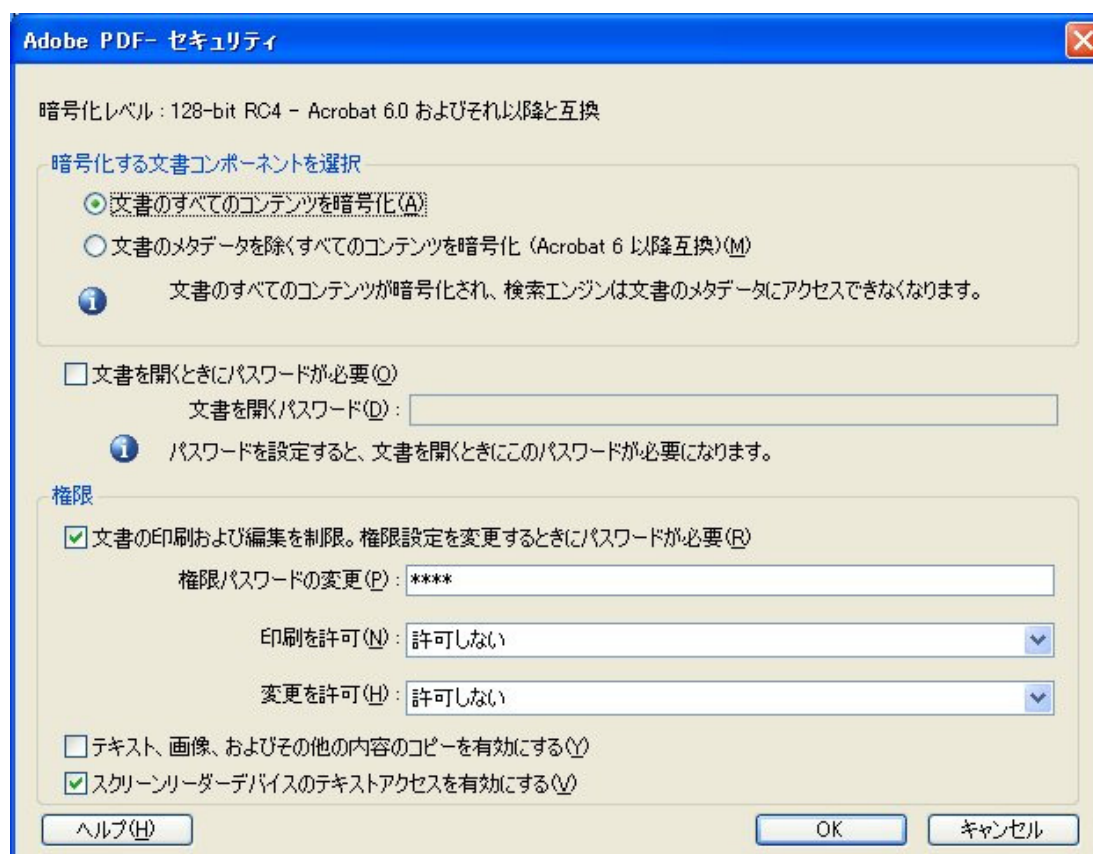
- ① Windows の「プリンタと FAX」から「Adobe PDF」を選択し、
右クリックメニューから「Adobe PDF のプロパティ」を表示します。



- ② 印刷設定ボタンをクリックして「Adobe PDF 印刷設定」を表示し、「Adobe PDF セキュリティ」の設定を変更します。



- ③ PDF 出力を行うと「Adobe PDF- セキュリティ」が表示されるようになります。権限を設定すると、編集制限をかけられるようになります。



CHINO

CHINO CORPORATION

CHINO CORPORATION

32-8, KUMANO-CHO, ITABASHI-KU, TOKYO 173-8632

Telephone: 81-3-3956-2171

Facsimile: 81-3-3956-0915

E-mail: inter@chino.co.jp

製品に関するお問い合わせは

コールセンター(お客様製品相談室) **0120-41-2070**
携帯電話からも無料でご利用いただけます。

ホームページ <https://www.chino.co.jp/>

※お問い合わせ時は形式コードと製造番号をお手元にご用意ください。

【受付時間】月曜日～金曜日(祝日、弊社休業日を除く)9:00～12:00 / 13:00～17:00